



**主 催**

仙北市チャレンジデー実行委員会 (会長 門脇光浩)  
仙北市教育委員会 スポーツ振興課  
〒014-0392 秋田県仙北市角館町東勝楽丁19  
TEL: 0187-43-3390 FAX: 0187-54-1727

**結 果**

人 口: 28,048 人 秋田県仙北市 ●  
参加者数: 14,520 人 VS  
参加率: 51.8% 和歌山県上富田町 ○  
取得メダル: 銀

**プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ① 仙北市民交流グラウンド・ゴルフ大会(生保内公園野球場) 170人
- ② 仙北市合同武術太極拳交流会(角館武道館) 70人
- ③ ラジオ体操&ウォーキング(桧木内川堤及び生保内地内) 30人  
・ チャレンジデー当日の早朝にラジオ体操とウォーキングを組み合わせたプログラムを実施しました。  
参加者全員でラジオ体操を行った後、スポーツ推進委員によるバランスウォーキングの講習を行い、参加者が自分の姿勢や歩き方のチェックをしました。その後、講習での内容を意識しながら実際に約30分のウォーキングを行いました。  
来年以降も実施し、少しずつでもこのプログラムを広げていくことができればと考えています。
- ④ 歴史を感じてウォーク(武家屋敷通り) 15人
- ⑤ 各種スポーツ(スロートレーニング、卓球、ウォーキング他)(きたうらアクアスポーツクラブ、たざわこスポーツクラブ、桧木内てくてく倶楽部) 50人

**実行委員会の構成団体**

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団

**広報・周知**

仙北市チャレンジデー実行委員会の公式 Facebook ページで事前にチャレンジデーのイベント情報や報告方法などをアップし、広く周知を図りました。また、当日はイベントの様子をはじめ、13時・17時・終了後の3回に渡り対戦状況(お互いの参加率)をページでお知らせし、参加率アップを図りました。

**製作物**

チラシ 14,000 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 150 本/懸垂幕 3 枚/Tシャツ 40 枚/ポケットティッシュ 2,000 個

**実施効果**

人口が減少する中、参加人数は年々増えており、これまでで最高の参加者数・参加率となりました。チャレンジデーを通して市民や事業所、各種団体のスポーツや運動に対する意識が少しずつではありますが着実に高まってきていると感じています。また、

市内の総合型地域スポーツクラブをはじめ複数のスポーツ団体によるプログラムやイベントも増え、スポーツを通じて市民の交流を図ることができました。このような動きが、市民の継続的な運動習慣に繋がるものと考えています。

**担当者から**

例年、チャレンジデーは田植えの時期と重なることから、農村部の方々の参加が課題でした。今回は各地域や集落はもちろん、農村部への事前周知・広報に力を入れ、一定の効果があつたものと考えており、市民の交流にも繋がったと思います。

チャレンジデーは1日で終了してしましますが、これをきっかけに市民の方が継続的にスポーツや運動を行うよう、普段からの意識作りが大切だと感じています。「スポーツで明るく元気な仙北市に!」をテーマに今後もスポーツや運動の情報を市民に発信して行きたいと思っています。



開会セレモニー



ウォーキング講習会



仙北市合同武術太極拳交流会

## 「チャレンジデー勝利を」 藤あや子さんエール

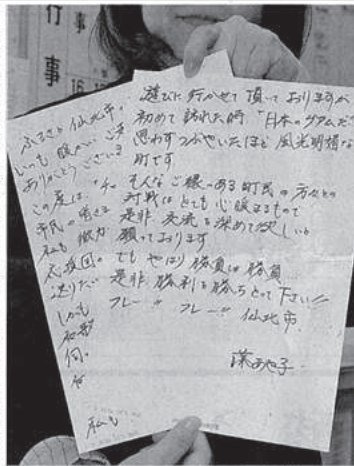
### 出身地仙北市に直筆文

ほぼ同じ規模の自治体同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」がきょう25日に全国一斉に行われるのを前に、仙北市出身の演歌歌手藤あやさんが、同市にファクスで直筆のメッセージを送り激励した。

人口約2万7800人の仙北市の対戦相手は和歌山県上富田町（同約1万5500人）。藤さんの親友で演歌歌

手坂本冬美さんの出身地で、藤さんもプライベートで毎年うのように訪問しているという。

門脇光浩市長から対戦相手の連絡を受けた藤さんは、角館中時代の同級生である市職員を通じてメッセージを送付。A4判2枚で、縁のある自治体同士の対戦に驚いたとし、交流を深めてほしいと期待を寄せながらも「勝負は勝負。」



仙北市に寄せられた藤さん直筆のファクス

是非勝利を勝ちとって下さる。仙北市は昨年度、神奈川県松田町と対戦し参加率51.1%で勝利した。

藤さんからのメッセージを受け、門脇市長は「応援はありがたい。勝利に向けた市民の頑張りにつながると話した。チャレンジデーは参加目標の人口規模と参加率に応じてメダル認定証が授与される。」（猪俣光太郎）

2016年5月25日 水曜日 秋田魁新報

## 多彩なスポーツ 住民の歓声響く

### チャレンジデー 25市町村参加

ほぼ同じ人口規模の市町村同士が、15分以上続けた運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」が25日、全国28市町村で行われた。本県からは昨年に続いて全5市町村が参加し、住民が多彩なスポーツで汗を流した。■関連記事21面

藤里町では藤里小学校の全校児童133人が午前10時半ごろ学校を出発し、町役場までウォーキング。児童は歴史上の人物やアニメのキャラクターなど思い思いの衣装を身にまとって、800メートルほどの距離を約20分かけて歩いた。到着後には藤里町の勝利を祝う「フレフレー」と声を入れた。6年の小田原未呼さん（11）は「大勢と一緒に体を動かすことができている」と話した。

恒頭



役場前でエールを送る藤里小の児童



腕立て伏せの姿勢でじゃんけんする親子



途中で手を上げる町役場恒頭から

2016年5月26日 木曜日 秋田魁新報

**主 催**

大仙市チャレンジデー実行委員会 (委員長 栗林次美)  
大仙市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課  
〒014-0062 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号  
TEL: 0187-63-1111 FAX: 0187-63-7131

**結 果**

人 口: 85,319 人 秋田県大仙市 ●  
参加者数: 47,527 人 VS  
参加率: 55.7% 東京都小金井市 ○  
取得メダル: 金

**プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①大仙ショッピングウオーク(イオンモール大曲・市内スーパーマーケット) 2,991 人
  - ・大型ショッピングモールのスペースを利用し、ニュースポーツを体験できるコーナーや地元の小学生によるよさこいなどのイベントをチャレンジデーに合わせて開催し、店内を訪れた人から買い物やイベントを楽しんでもらいながら、15分間以上のウォーキングをしていただきました。参加者に、店内で配布している参加用紙を集計BOXに入れてもらい、参加賞としてポケットティッシュを配布しました。
- ②親水公園清掃と旬の味を楽しむ会(川港親水公園) 300 人
- ③ハッピータイム オブ 大曲ヒカリオ(大曲ヒカリオイベント広場) 180 人
- ④道の駅 チャレンジタイム(道の駅協和・神岡・中仙) 123 人
- ⑤来て、見て、知って 庭園巡り(国指定名勝 旧池田氏庭園) 85 人

**【アスリート・著名人など】**

谷口大智(秋田ノーザンハピネッツ所属、2008年アジア大会ベスト4)／菅澤紀行(秋田ノーザンハピネッツ所属)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／商工会・青年会議所／医師会

**メディア**

FM はなび／NHK 秋田／ABS ラジオ／県南日々／秋田民報

**広報・周知**

地元のFM番組の中で、チャレンジデーを紹介し、毎日のように番組で放送してもらい、チャレンジデーについてより多くの方から関心をもっていただけるようにしました。また、市のHPだけでなく、ショッピングウオークで協賛している店舗のHPでもチャレンジデーを紹介してもらい、より多くの方に情報が行き渡るようにしました。

**製作物**

チラシ50,000枚／ポスター130枚／大型横断幕1枚／のぼり

200本／Tシャツ170枚／ポケットティッシュ3,000個／施設  
掲示用大型看板4枚／車上看板1枚

**実施効果**

チャレンジデーの中で、ショッピングウオーク等日常生活の中で自然と行える運動を取り込んで事業を行うことで、普段スポーツをしない方たちにも、日常生活の中で運動を取り入れることを意識してもらえたということです。また、チャレンジデーの事業で市の広場、施設等を利用することによって、普段関わりがない方たちにも利用してもらうきっかけとなると感じています。運動面だけではなく、地域の活性化をはかる事業の1つとなりうるとも感じております。

**担当者から**

普段スポーツとは関わりのない団体や企業等にも、チャレンジデーを通じてつながりができ、大仙市全体の事業として取り組んでいるという実感があります。他課や団体からの協力もあり、チャレンジデー周知にも積極的に関わっていただけており、年々チャレンジデーに対しての機運が高まりつつあるように感じています。秋田県では、県全体でも取り組んでいる事業なので、チャレンジデーをきっかけに運動、スポーツだけでなく、市全体もしくは県全体が活気づくような事業として、今後も取り組んでいきたいと考えています。



雨の中ががんばったスポーツ GOMI 拾い



お買い物しながら運動ショッピングウオーク

# 大仙市は55%で敗れる

## チャレンジデー



参加申請をする市民ら



体を動かす来場者

住民の参加率を競う「住民参加型スポーツイベント」チャレンジデー」が25日、全国一斉に行われた。4回目の挑戦となった大仙市は東京都小金井市と対戦。参加率は55・7％で小金井市の82・6％には及ばず、2年連続の勝利にはならなかった。チャレンジデーはスポーツを通じて、健康づくりや地域の活性化を図ることを目的に、川スポーツ財団の主催で行われるイベント。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合うもの。対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインボールに1週間掲揚し、相手の健康をたえるというユニークなルールが特徴だ。

大仙市は参加率を高めようと90のイベントを組んだ。大曲ヒカリオのイベント広場では、「ハッピータイム オブ大曲ヒカリオ」を開催した。イベントには栗林次美市長、久米正雄、老松博行副市長、吉川正一教育長が来場。開会セレモニーで栗林市長は「秋田県は全市町村がチャレンジデーに参加している。年々それぞれその健康や地域づくりに繋がる大事な行事だ」と語り、「大曲ヒカリオ」を健康運動指導士の原田三枝さんが講師となり、集まった市民は「足腰ジョギング」体験を行った。しっかりと準備をした。

大仙市の人口8万5319人で、参加者は4万7527人。参加率は昨年より約4ポイント上げた55・7％。対する3回目の参加となる小金井市は11万8015人のうち9万7473人が参加した。昨年の75・2％を上回る82・6％を記録した。



あいさつする栗林市長



まるびちゃんを先頭にウォーキング

2016年5月28日 土曜日 秋田民報

### チャレンジデーの25日

大仙市は東京都小金井市と対戦、連勝ならず

市民は様々な運動で参加、角間川町では公園の清掃活動（5月26日・木）



スポーツの方で日本を元気に1ーを合言葉に人口規模がほぼ同じ自治体同士の住民が15分以上継続した運動の参加率を競うチャレンジデー2016が25日、全国一斉に行われた。大仙市では東京都小金井市と対戦した結果、同日午前0時から午後9時までの参加者は4万7527人、参加率は55・7％だったが、対戦相手の小金井市は9万7473人が参加し、82・6％の高率で大仙市を破った。

大仙市は2013年からチャレンジデーに参加、今回は4度目の挑戦。初勝利を飾った昨年が続いての連勝を目指したが及ばなかった。敗戦によって大仙市は対戦相手の勝利に敬意を表し、26日から1週間、庁舎のメインボールに小金井市の旗を掲揚し健康をたえている。

チャレンジデー主催者の菅川スポーツ財団によると今年は全国128カ所の自治体から292万2834人が参加し、平均参加率は54・3％だったという。

大仙市ではチャレンジデーの25日、様々なスポーツイベントを企画して市民の参加率を高めた。同市角間川町の角間川コミュニティ会館と角間川まちづくりの会では観水公園で、公園の清掃と匂の味を楽しむ会を開いた。

地域住民の散策コースにもなっている観水公園の清掃を通じて体を動かそうというもので、角間川、藤木の両小学校から3年生以上の児童全員と大曲南中学校の生徒全員、それに地域住民合わせて約300人が参加。

開会式で古谷武典角間川コミュニティ会館会長は「マナーの悪いゴミ捨ては減ってきたが、公園をきれいにする活動でチャレンジデーへの参加率を高めたい」と激励した。

これを受けて角間川、藤木両小学校の児童は、枯れ枝や枯葉を集めたり、遊歩道の草取りに助んだ。南中の生徒たちの男子は公園最上流の散策道に敷いたレンガをブラシで洗い、女子生徒たちは花壇の草取りに汗を流した。公園最上流の散策道は洪水のたびに泥水に浸かり、汚れがひどくただけに地域住民は水路からバケツで水をくみ上げ、ブラシで懸命にレンガを洗う中学生たちの頑張りに感謝していた。

作業は約1時間で終わり、川の町として栄え、川魚料理が盛んだった伝統を残そうと主催者はイワナを公園で放流し、全員に匂の味を振る舞った。

2016年5月26日 木曜日 県南日々 web版



地元住民で楽しんだレクリエーション

### 主 催

にかほ市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 和田紀夫)  
 にかほ市教育委員会 スポーツ振興課  
 〒018-0104 秋田県にかほ市象潟町字狐森 7 番地  
 TEL : 0184-33-8855 FAX : 0184-33-8856

### 結 果

人 口 : 25,981 人 秋田県にかほ市 ●  
 参加者数 : 11,041 人 VS  
 参加率 : 42.5% 北海道富良野市 ○  
 取得メダル : 銀

### プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①メインイベント(象潟体育館) 135 人
- ・メインイベントは、スポーツ推進委員が主体となり、にかほ市のご当地ヒーロー「超神ネイガー」やサッカー J3 のブラウブリッツ秋田の選手とボールを使って遊んだり、じゃんけんゲームなどをしたりするスポーツ交流イベントとなっております。  
 また今回は地元ミュージシャンのケースケ&マサが出演し、「にかほ体操」を実施し、参加者の性別年代を問わず、楽しめる内容となっております。
- ②白寿大学軽運動(象潟公民館) 74 人  
 ③ふれあい健康教室(象潟体育館) 73 人  
 ④むらさぎ学園(にかほ体操) (仁賀保体育館) 72 人
- 【アスリート・著名人など】**  
 ブラウブリッツ秋田(サッカー J3 所属) / ケースケ&マサ(にかほ市出身のミュージシャン(株式会社ショーミーエンターテイメント)) / 超神ネイガー(にかほ市のご当地ヒーロー(株式会社正義の味方))

### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 福祉担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 婦人会 / 観光協会

### 広報・周知

市の広報を活用し、5月1日号の裏表紙1面でチャレンジデーを市民にPRしました。さらに5月15日号と共にチャレンジデーのチラシを全戸配布しました。結果としては微増ではありますが、にかほ市の過去最高の参加率となりました。

### 製作物

チラシ 10,000 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 5 張 / 横断幕 (その他) 10 張 / のぼり 150 本 / Tシャツ 66 枚

### 実施効果

市民のチャレンジデーに対する認知度は、参加協力団体・企業等が毎年増えていることから、上がってきていると感じています。そ

れに伴い、市民の運動をする意識も高まっていると感じています。

### 担当者から

チャレンジデーに参加協力していただける団体・企業の方々の交流が、毎年増えてきていると感じています。

そして、市民の 15 分間の運動習慣も広まってきていると実感しています。

しかし、チャレンジデーの広報・周知は、市民全体に馴染むまでには、まだまだ足りないと感じていますし、まだまだ頑張り次第で伸びしろは有ると実感しています。これからも、市民の協力を得て、運動習慣の普及を図りたいと考えています。



J3 ブラウブリッツ秋田の選手と交流



超神ネイガーとふれあい



ジャンボボールで玉送り

チャレンジデー2016、本県自治体の対戦表

本 県	対戦相手	本 県	対戦相手
秋田市	下関市(山口県)	湯沢市	神埼市(佐賀県)
鹿角市	赤磐市(岡山県)	小坂町	枝幸町(北海道)
北秋田市	雲南市(島根県)	上小阿仁村	飛島村(愛知県)
	高さつま市(鹿児島県)	藤里町	新郷村(青森県)
大館市	甲斐市(山梨県)	八幡町	新得町(北海道)
能代市	奄美市(鹿児島県)	三種町	北広島町(広島県)
男鹿市	多度津町(香川県)	井川町	和治町(鹿児島県)
潟上市	扶桑町(愛知県)	八郎潟町	廣橋町(北海道)
由利本荘市	豊岡市(兵庫県)	五城目町	軽米町(岩手県)
にかほ市	富良野市(北海道)	大湯村	猪塚村(宮崎県)
大仙市	小金井市(東京都)	美郷町	竹原市(広島県)
仙北市	上富田町(和歌山県)	羽後町	松田町(神奈川県)
横手市	鹿島市(鹿児島県)	東成瀬村	南相木村(長野県)

全国の市町村同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が、今年も5月25日に開催される。全国から昨年と同じ130市町村が参加。昨年、全国で唯一全市町村が参加した本県は、今年も25市町村がエントリーしており、2年連続で全国唯一の全市町村参加となる。

## 5月25日 チャレンジデー

ほぼ同じ自治体同士で、15分以上運動した住民の割合を競う。昨年、県内最高の95・1%の参加率だった東成瀬村はカテゴリー1(人口5千人未満)で、長野県南相木村と対戦する。カテゴリー5(7万人以上、25万人未満)では鹿児島県霧島市と、カテゴリー6(人口25万人以上)で21・7%だった秋田市は山口県下関市と、それぞれ競い合う。

昨年は全国130市町村から約277万人、本県からは25市町村の53万人余りが参加し、体操やウォーキング、社交ダンスなど多彩なイベントで体を動かした。

笹川スポーツ財団の担当者は「秋田のチャレンジデーの盛り上がりには他県の関係者も驚いている。今年も多くの人が参加しても

## 今年も全25市町村参加

### 2年連続で全国唯一 本県

「秋田のチャレンジデーで行われたダンスパーティー。参加者は曲に合わせて社交ダンスを楽しんだ。秋田市立体育館」

「山影寿士」



2016年4月4日 木曜日 秋田魁新報

#### 主 催

能代市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 齊藤滋宣)

能代市教育委員会 生涯学習・スポーツ振興課

〒018-3192 秋田県能代市二ツ井町字上台 1-1

能代市二ツ井町庁舎

TEL : 0185-73-3221 FAX : 0185-73-6459

#### 結 果

人 口 : 56,110 人

参加者数 : 24,800 人

参加率 : 44.2%

取得メダル : 銀

秋田県能代市 ●

VS

鹿児島県奄美市 ○

#### プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①嫁見まつりを歩いて見に行こう(日吉神社境内・柳町商店街) 324人

②能代市総合体育館無料開放(能代市総合体育館) 138人

③のしるしチャレンジデー2016 総合開会式(能代市総合体育館) 110人

- ・全国制覇58回を数える能代工業高校バスケットボール部がある能代市では、バスケの街づくりに取り組んでいます。市民参加型イベントの一つとして企画された「バスケチャレンジ in 能代」には、多数のバスケファンが集まりました。参加者は複数のチームに別れて5分間のミニゲームを繰り返し行い、参加者同士が交流しながら心地良い汗を流しました。

④バスケチャレンジ in 能代(能代市総合体育館) 102人

⑤ごみゼロウォーキング(能代市畠町大通り) 72人

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／健康づくり担当部署／総務担当部署／地域づくり支援担当／産業政策担当／農業振興担当／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／婦人会／健康推進委員協議会／医師会／警察署／消防署

#### メディア

秋田魁新報／北羽新報

#### 広報・周知

人数が多い学校関係、大企業などは、直接訪問して参加の呼びかけを行いました。また、自治会・町内会やスポーツ団体等からは、事前に実施予定を伺い、当日未報告の団体等へ連絡して実施確認を行いました。市民参加型イベント数を増やすとともに、すべてのイベントを「健康チャレンジポイント」の対象とし、健康づくりへの意識付けを行い参加者数の増加に繋がりました。

※「健康チャレンジポイント」は能代市独自の事業です。

#### 製作物

チラシ 33,000 枚／ポスター 250 枚／のぼり 150 本／Tシャツ 95 枚／ポケットティッシュ 2,000 個／

#### 実施効果

チャレンジデーは4回目の実施になりますが、着実に地域コミュニティが活性化してきていると感じています。近隣自治会合同でラジオ体操が行われるようになり、自治会同士の連携や交流が図られています。また、市民が身体を動かすきっかけづくりとなり、市民の健康づくりに対する意識の向上に繋がっています。

#### 担当者から

チャレンジデーは、市民の健康に対する意識を高め、日常的に身体を動かすきっかけをつくるのが大きな目的だと考えています。4回目の実施で目標の50%には届きませんでした。徐々に参加率が向上してきており、市民への周知及び参加意識の向上が図られてきたと感じています。来年はさらに参加率が向上するよう、工夫しながら取り組んでいきたいと思ひます。



総合開会式参加者によるラジオ体操



バスケチャレンジ in 能代



チャレンジデー

能代山本「1勝3敗」

八峰だけ「白星」 ポールに勝者の旗たなびく



能代市旗の上にはためく  
鹿児島県奄美市の市旗  
(能代市役所で)

25日に全国一斉行われた住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2016」は、同日午後9時で終了し、能代山本4市町の参加率は能代が44.2%（前年比1.1%増）、三種48.0%（同2.4%増）、八峰64.6%（同1.3%増）、藤里87.2%（同2.8%増）だった。八峰のみ対戦相手の北海道新得町に勝利、他3市町は参加率で昨年を上回ったものの敗戦を喫し、「1勝3敗」の結果だった。

能代山本市町の対戦結果

(%は住民参加率)

- 能代市 44.2% vs 奄美市 55.2% ○  
(鹿児島県)
- 三種町 48.0% vs 北広島町 48.8% ○  
(広島県)
- 八峰町 64.6% vs 新得町 62.4% ●  
(北海道)
- 藤里町 87.2% vs 新郷村 131.0% ○  
(青森県)

チャレンジデーで敗退した自治体は、相手自治体の旗を1週間掲揚するのがルール。能代市役所ではのり朝、第一庁舎のポールに奄美市の市旗を設置、能代市旗を従えるようにしている。

デーには今年、全国12339人は参加者398自治体（総人口5008万1001人）、2月1日現在が参加国内の取り組みを推進する市川スポーツ財団によると、参加者の数は2015年900人で、平均参加率は54.3%だった。3回目の参戦となった八峰町7670人では4900人が参加、対戦相手の北海道新得町（6

チャレンジデー委員長（4方4777人）に11歳金事務局長は「天気が悪い中でも、町民の参加は若干増えた。自治体同士で参加率を競う自治体チャレンジデーなども実施しており、町民の参加が高まっている」と勝因を分析している。

一方、4回目参戦の能代市（5万9100人）では2万4800人が参加。参加率50%の目標を掲げて昨年に勝利を挙げたものの、本書は44.2%に止まり、対戦相手の鹿児島県奄美市（4万4777人）に11歳

2016年5月27日 金曜日 北羽新報

チャレンジデー

能代市は奄美市(島)と

対戦相手 決まる 5月25日、名誉懸け

チャレンジデー2016(6月25日)の対戦相手 5回目の新郷村、3回目が決定した。能代市は鹿の八峰町は6回目の新得町、4回目は三種町は同、八峰65.0%、藤里84.4%で、全勝を飾っており、今年も健闘が期待される。

チャレンジデーは、住民の健康づくりなどを図るため、毎年5月の最終水曜日に行われる住民参加型のスポーツイベント。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動した住民の参加率を競う。

今年全国68市・49町・13村の130自治体が参加する。1回別で藤里町はカテマリ1(4999人以下)、八峰町はカテマリ2(5千〜9999人)、三種町はカテマリ3(1万〜2万9999人)、能代市はカテマリ4(3万〜6万9999人)に入る。

2016年3月5日 土曜日 北羽新報



ラージボール卓球 100本ラリー

## 主 催

チャレンジデー八郎潟町実行委員会(実行委員会会長 畠山菊夫)  
教育委員会教育課

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80番地  
八郎潟町役場

TEL: 018-875-5812 FAX: 018-875-5950

## 結 果

人 口: 6,198人 秋田県八郎潟町 ○  
参加者数: 4,552人 VS  
参加率: 73.4% 北海道鷹栖町 ●  
取得メダル: 金

## プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① **マスゲーム練習(農村環境改善センター)** 71人
  - ・今年、町誕生60周年であり、2年に1度の町民体育祭開催年であったため、町民体育祭を盛り上げるマスゲームの合同練習日をチャレンジデー開催日に実施しました。
- ② **にゃんぱち子育てランド(えきまえ交流館「はちパル」)** 49人
- ③ **グラウンド・ゴルフ(八郎潟町中羽立公園芝生広場)** 44人
- ④ **ママのためのリフレッシュヨガ(えきまえ交流館「はちパル」)** 33人
- ⑤ **バレーボール交流(八郎潟町町民体育館)** 30人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/あきた湖東農協共同組合

## メディア

秋田魁新報

## 広報・周知

5月連休明けから町内会長に、町内の家々を回って参加を呼び掛けていただいたおかげで昨年よりも参加率アップにつなげることができました。

## 製作物

ポスター30枚/大型横断幕1枚/のぼり80本/Tシャツ40枚/ポケットティッシュ5,000個/フェイスタオル3,000枚/町広報2,527件

## 実施効果

チャレンジデーを実施することにより住民が様々なイベントやスポーツに触れるきっかけとなり継続して体を動かす住民が少しずつ増えてきております。



マスゲーム



バレーボール交流



グラウンド・ゴルフ交流

全国の市町村同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジダー」(笹川スポーツ財団主催)があす25日、全国一斉に行われる。昨年、全国で唯一全市町村が参加した本県は、今年も25市町村がエントリー。

2年連続で全国唯一の全市町村参加となる。23日には秋田市の県市町村会館で決起集會が行われ、佐竹敬久知事や自治体首長、本県出身のスポーツ選手ら約40人が健闘を誓った。  
■関連記事18面

あすチャレンジダー

みんなで運動楽しもう



決起集會で拳を突き出し健闘を誓い合う出席者たち

決起集會、健闘誓う 秋田市

チャレンジダーは毎年5月の最終水曜日に行う住民参加型のスポーツ行事。人口規模のほぼ同じ自治体同士で、午前0時〜午後9時に15分以上運動した住民を数え、人口に占める参加率

を対戦相手の市町村と競う。今年も全国の128自治

決起集會では、佐竹知事が「全市町村が一致団結し、昨年よりも高い参加率を目指そう」とあいさつ。笹川スポーツ財団理事長の小野清子さん(元五輪体操代表)も出席し「運動は人生を楽しくする。皆さんが豊かな気持ちになれるよう、参加を呼び掛けてほしい」と話した。

チャレンジダー大使としてあす各市町村を訪れる元ラグビー日本代表の伊藤護さん(男鹿市出身)は「健康増進や地域活性化につながるばつれしい」と語った。

大使は伊藤さんのほか、▽茂木優さん(元五輪レスリング代表)▽利部陽子さん(元五輪バレーボール代表)▽石垣寿美子さん(スキー距離選手)。小野さんも激励訪問する。

大使らの訪問市町村や時間には県体協ホームページで紹介している。

(椎名博樹、菊地隆秀)

2016年5月24日 火曜日 秋田魁新報

## 主催

八峰町チャレンジデー実行委員会 (会長 加藤和夫)

教育委員会生涯学習課スポーツ振興係

〒018-2641 秋田県山本郡八峰町八森字中浜 196-1

ファガス

TEL : 0185-77-3700 FAX : 0185-74-5290

## 結果

人口 : 7,676 人

参加者数 : 4,956 人

参加率 : 64.6%

取得メダル : 金

秋田県八峰町 ○

VS

北海道新得町 ●

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 踊り講習会 (ファガスイベントホール、峰栄館ホール) 65 人
  - ・ 町内中学校体育館、土床体育館を利用し、バスケットボール、卓球、ソフトバレー、ソフトテニス、野球を行いました。町体育協会加盟の各協会が主体となり、初心者向けのプログラムの実施や協会員によるアドバイスを行うなど、子どもから大人まで気軽に参加でき、楽しく交流できました。
- ② ナイタースポーツチャレンジ (町内体育館 (5カ所)) 54 人
- ③ チャレンジデーゲートボール大会 (峰浜土床体育館 37 人)
- ④ 転倒予防教室 (ファガスイベントホール) 17 人
- ⑤ フロアカーリング、ニュースポーツ、幻のラジオ体操第三をやってみよう (あきた白神体験センター) 16 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 (校長会) / 中学校 (校長会) / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会

## メディア

北羽新報

## 広報・周知

町民向けの広報として開催日までの 10 日間防災無線での放送を行ったほか、チラシの全戸配布を 2 回行いました。行政施設や観光施設では T シャツの着用による PR を行い、参加を呼びかけました。

## 製作物

チラシ 3,800 枚 / ポスター 140 枚 / のぼり 130 本 / T シャツ 270 枚 / ポケットティッシュ 4,000 個 / キャップ 80 個 / タオル 250 枚

## 実施効果

昨年に比べ住民の参加率が増えました。地域住民の交流の機

会や運動をするきっかけづくりになっているようで喜ばしいことでした。

## 担当者から

当日の参加率向上だけを目的にするのではなく、住民の日常的な健康づくり・地域づくり・仲間づくりにつなげていくためにチャレンジデーを有効に活用したいと思います。



子ども園チャレンジタイム



踊り講習会



健康体操



チャレンジデー勝利への取り組みを最終確認した実行委

## 町峰 P R の強化を確認 八 実行委 チャレンジデー勝利へ

八峰町チャレンジデー「長・加藤町長は13日、町の第3回実行委員会（会）役場で開かれ、25日に行

われるチャレンジデー2016のスケジュールなどを最終確認した。出場3回目の同町は北海道新得町と対戦、70%の参加率達成と昨年に続く勝利を目指す。防災無線放送などによる事前PRを強化する。

実行委は体育・スポーツ、商工、観光の各団体や自治会などの23人で組織。加藤会長は「あと10日余りで本番を迎える。皆さんの力を借りて成功を収めたい」とあいさつした。当面のスケジュールや前日までの啓発活動、当日の態勢、報告・集計方法などを最終確認した。同町の昨年度の参加率は65・9%で、本年度は

70%を目標に設定した。参加率向上に向け、当日は新得町発祥とされる「ユースポーツ」「フロアカーリング」などの体験会（午前10時～午後3時・あきた白神体験センター）や踊り講習会（午前9時30分～10時・ファガス、午後3時～3時30分・峰栄館）、新体力テスト（午後5時～7時・八森体育館）といった新規のイベントも用意する。

2016年5月18日 水曜日  
北羽新報

チャレンジデー  
健闘を誓って  
エールの交換  
加藤八峰町長と  
北海道新得町長  
八峰町の加藤町長は20日、チャレンジデー25日）で対戦する北海道新得町の浜田正和町長と電話でエール交換した。互いの健闘を祈るとともに、対戦を機に交流が深まることにも期待を寄せた。

チャレンジデーは、笹川スポーツ財団が毎年5月の最終水曜日に行つて



電話で健闘を誓い合う加藤町長（八峰町役場で）

いる全国規模の住民参加型スポーツイベント。午前0時から午後9時まで15分間以上継続して運動した住民の割合を、人口が同規模の自治体同士で競う。

八峰町は3回目の参戦。昨年度は、参加率65・9%で対戦相手の鷹栖町（北海道）を2・3ポイント上回り、初勝利を飾った。今年も参加率の目標を70%に掲げている。対戦相手の新得町は北海道中央部に位置し、林業や畜産業が盛んな自然豊かな町。昨年度の参加率は63・7%。

田町長からは9月に新得町で開かれる「日本そば博覧会」への参加の呼びかけもあつた。

2016年5月22日 日曜日  
北羽新報

**主 催**

東成瀬村チャレンジデー実行委員会 (会長 佐々木哲男)  
 東成瀬村教育委員会  
 〒 019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下 30-1  
 TEL : 0182-47-3415 FAX : 0182-47-2119

**結 果**

人 口 : 2,659 人 秋田県東成瀬村 ○  
 参加者数 : 2,331 人 VS  
 参加率 : 87.7% 長野県南相木村 ●  
 取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①早朝ごみ拾いウォーキング、ラジオ体操、花植え活動(全村避難訓練を合わせて実施) (村内各地区) 1,492 人
  - ・ 村内各地区でウォーキングや花壇整備活動が行われる早朝に合わせて避難訓練を実施しております。避難訓練終了後にはラジオ体操を放送し、各避難場所において実施しております。
- ②チャレンジデー記念イベント「みんなで体操」(東成瀬村多目的グラウンド) 220 人
- ③親子 DE リズム遊び(なるせ保育園・児童館) 155 人
- ④ロープ・ジャンプ・EX(観覧者含む) (東成瀬村民体育館) 100 人
- ⑤東成瀬中学校体育祭(東成瀬村多目的グラウンド) 90 人

**【アスリート・著名人など】**

利部陽子(ロサンゼルスオリンピック バレーボール女子 銅メダル)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／PTA 連合会／自治会・町内会

**広報・周知**

チャレンジデーの2ヵ月前から、村広報紙上において参加の呼びかけの記事を掲載したほか、約1ヵ月前には立て看板の設置及び村内各所へのぼり設置を行い、イベントの周知に努めました。

**製作物**

チラシ1,000枚／ポスター66枚／大型横断幕1枚／のぼり70本／Tシャツ160枚／ポケットティッシュ1,700個／立看板1個

**実施効果**

チャレンジデー関連事業を地区の行事の一つとして位置づけ、各地区が自主的に計画実施することで、地域コミュニティの形成に役立っていると考えます。

また、地区ごとの事業には多世代が参加しており、地域内の世代間交流を深めることができました。

小学校では全国共通イベント「ロープ・ジャンプ・EX」に参加することで、クラスの団結力や向上心を育む良い機会となっています。

村外からも多くの方々に参加していただき、交流人口の増加とスポーツ施設の有効活用が図られました。

**担当者から**

今年で9回目の実施となります。昨年は過去最高の参加率を記録しましたが、今回はやや参加率が下がり、イベントの盛り上がりを持していくことの難しさを感じました。

チャレンジデーの性質上、参加率や対戦相手との競争結果に目が行きがちになりますが、参加者一人一人の充足感を高められるよう取り組んでいきたいと考えます。



親子 DE リズム遊び



早朝ラジオ体操



早朝花壇整備

スポーツで元気なまちづくり!

全国一斉開催

# チャレンジデー 5/25(水)

2016 午前0時▶午後9時

**秋田市(2回目)**  
① 山口県下関市(初実施)  
【オープニングイベント】  
はすむスポーツフェスティバル  
【場所】はすむスタジアム 7:40~  
秋田市教育委員会 スポーツ振興課  
☎018-866-2247

**能代市(4回目)**  
② 鹿児島県奄美市(8回目)  
【開会式】ラジオリレー  
【場所】能代市総合体育館 9:00~  
能代市教育委員会 生涯学習 スポーツ振興課  
☎0185-73-3221

**湯沢市(4回目)**  
③ 佐賀県神埼市(7回目)  
【オープニングイベント】  
気分爽快ストレッチ体操  
【場所】湯沢文化会館 9:00~  
湯沢市教育委員会 生涯学習 スポーツ振興課  
☎0183-55-8286

**大仙市(4回目)**  
④ 東京都小金井市(3回目)  
【開会式】ハッピータイム オブ 大曲ヒカリオ  
【場所】大曲ヒカリオ 11:00~  
大仙市教育委員会 生涯学習 スポーツ振興課  
☎0187-63-1111

**小坂町(6回目)**  
⑤ 北海道枝幸町(初実施)  
【オープニングイベント】  
ノルディックウォーク  
【場所】中央公園 8:00~  
小坂町教育委員会 生涯学習課  
☎0186-29-2069

**八幡町(3回目)**  
⑥ 北海道新得町(6回目)  
【開会式】全町一斉ラジオ体操タイム  
【場所】全町全域 7:10~  
八幡町教育委員会 生涯学習課  
スポーツ振興課 ☎0185-77-3700

**大湯村(2回目)**  
⑦ 宮崎県諸塚村(12回目)  
【開会式】全町一斉ラジオ体操  
【場所】大湯村商店街 6:30~  
大湯村教育委員会 生涯学習課  
村民体育館 ☎0185-45-2269

**横手市(4回目)**  
⑧ 鹿児島県霧島市(3回目)  
【開会式】グラウンドゴルフ交流会  
【場所】霧島総合公園グラウンドゴルフ場 9:00~  
横手市まちづくり推進課 スポーツ振興課  
☎0182-35-2173

**大館市(4回目)**  
⑨ 山梨県甲斐市(7回目)  
【開会式】ラジオ体操  
【場所】大館駅前ドーム 10:00~  
大館市教育委員会 スポーツ振興課  
スポーツ交流推進課 ☎0186-43-7148

**男鹿市(5回目)**  
⑩ 香川県多度津町(18回目)  
【開会式】チャレンジデー大衆によるグレイレース  
【場所】鶴本運動公園グラウンド 16:00~  
男鹿市教育委員会 生涯学習課  
☎0189-24-9102

**由利本荘市(4回目)**  
⑪ 兵庫県豊岡市(7回目)  
【開会式】チャレンジアーク  
【場所】文化交流館「カゲル」 9:30~  
由利本荘市教育委員会 スポーツ課  
☎0184-32-1334

**湯上市(4回目)**  
⑫ 愛知県扶桑町(3回目)  
【開会式】レクリエーション体操  
【場所】天王崎宮体育館 10:00~  
湯上市教育委員会 生涯学習課 市民センター  
☎018-953-5363

**仙北市(6回目)**  
⑬ 和歌山県上富田町(11回目)  
【開会式】市民交流グラウンドゴルフ大会  
【場所】市民交流センター 9:00~  
仙北市教育委員会 スポーツ振興課  
☎0187-43-3390

**三種町(4回目)**  
⑭ 広島県北広島町(4回目)  
【開会式】チャレンジラン  
【場所】早稲田交流センター 9:00~  
三種町教育委員会  
☎0185-67-2222

**井川町(6回目)**  
⑮ 鹿児島県和歌町(13回目)  
【開会式】井川小学校ラジオ体操  
【場所】井川小学校グラウンド 10:25~  
井川町教育委員会  
☎018-674-3668

**東成瀬村(9回目)**  
⑯ 長野県南相木村(4回目)  
【開会式】みんなで作る  
【場所】東成瀬村多目的グラウンド 9:30~  
東成瀬村教育委員会  
☎0182-47-3415

昨年にも続き、秋田県は / 全25市町村全てが参加します!

**秋田県知事 佐竹 敬久**

「チャレンジデー2016」の開催を心からお喜び申し上げます。チャレンジデーは、対戦自治体と参加率を競うことはもちろん、地域住民が一体となって運動やスポーツに取り組むことで、スポーツの振興や地域の活性化、住民の健康づくりにも繋がる意義深いイベントです。

今年も本県では、全国で唯一全市町村が参加して行われることになっております。多くの県民の皆様が、このイベントを通して運動やスポーツに親しみ、日常的に運動するきっかけにいただければ幸いです。

25日は、家族や友人、職場の仲間などと一緒に、運動やスポーツを楽しみましょう!

**チャレンジデーってなに?**

毎年5月の最終水曜日に、人口規模に近い自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競うスポーツイベントです。

**どんなことをすればいいの?**

自宅や地域、職場、学校などで、スポーツはもちろん、15分以上継続して体を動かすものなら何でもOKです!例えば、散歩、ストレッチ、ラジオ体操のほか、徒歩や自転車による通勤・通学など、どんなことでもOKです!

**参加した後の報告はどうするの?**

**自主申告が原則です。**  
チャレンジデー当日、運動やスポーツをした後に、次の事項について、各市町村の集計センターに報告してください。

- ①氏名(団体名) ②どのような運動・スポーツをしたのか
- ③参加人数 ④年代(団体は不要) ※任意

★職場や学校、自治会、サークルなどで参加した場合は、代表者が参加人数をまとめて報告してください。  
★運動やスポーツはいつでも参加できますが、報告は一人一回です。

**イベント内容や、参加報告方法等は  
各市町村へお問い合わせください。  
あなたの報告が勝利につながります!**

2016年5月22日 日曜日 秋田魁新報

## 主催

藤里町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 佐々木文明)  
教育委員会生涯学習係

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字家の後 67  
三世代交流館

TEL : 0185-79-1327 FAX : 0185-79-2227

## 結果

人口 : 3,538 人	秋田県藤里町 ●
参加者数 : 3,084 人	VS
参加率 : 87.2%	青森県新郷村 ○
取得メダル : 金	

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 仮装ウォーキング(藤里小学校~藤里町役場) 250 人
  - ・ 藤里小学校の全校児童と先生が、仮装をして藤里町商店街でウォーキングを実施しました。最後は、藤里町役場前に集合し、たくさんの町民が見守る中、町にエールを送り、周りの町民を巻き込んで町民歌を歌いました(雨天でなければ、保育園、幼稚園も合同で実施する予定でした)。チャレンジデーを、学校と地域の交流に活用しながら、メインイベントとして町内を盛り上げることに成功しました。
- ② チャレンジ! 藤里中学校(藤里中学校) 150 人
- ③ きらきら★ナイトウォーキング(藤琴地区) 100 人
- ④ チャレンジ! 米田地区(米田地区) 80 人
- ⑤ チャレンジ! 粕毛地区(粕毛地区) 80 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/障害者団体

## メディア

北羽新報/秋田魁新報

## 広報・周知

チャレンジデーの取り組み内容を、町民が楽しめるような内容にすることで、自発的に周囲を巻き込みながら参加しようとする人を増やそうとしました。(仮装ウォーキング、きらきら★ナイトウォーキング)

## 製作物

チラシ 1,500 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 70 本/Tシャツ 290 枚

## 実施効果

- ・ 目標に向かって町全体が活動することで、地域の一体感や人とのつながりが深まりました。

- ・ 目標達成(昨年参加率以上、金メダル獲得)することができ、町民みんなで喜びを分かち合いました。
- ・ 対戦相手が隣県だったため、町民の関心が非常に高く、今後の生涯学習事業で訪問する予定です。

## 担当者から

相手が日本一の青森県新郷村ということで、モチベーションを保ちながらチャレンジデーを迎えることが大きな課題でしたが、目標を「昨年参加率以上、チャレンジデーを楽しむ!」に設定したことで、いい意味で吹っ切れることができたと思います。

当日は雨天でしたが、学校と地域が連携するイベントや、老若男女が一緒に楽しめるイベントを展開することで、昨年の参加率よりも 2.8% アップを達成することができました。勝負に敗れましたが、2014 年の初参加より毎年参加率を伸ばし続けていることが一番の功績だと思います!



藤小仮装ウォーキング! 町民を巻き込んで記念撮影!



車庫でラジオ体操! 田舎ならではの団結力!



老若男女が参加したナイトウォーキング





## 主 催

美郷町チャレンジデー実行委員会 (会長 松田知己)  
美郷町教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班  
〒019-1234 秋田県仙北郡美郷町飯詰字糠淵 18-1  
美郷総合体育館リリオス内  
TEL : 0187-84-4916 FAX : 0187-86-8033

## 結 果

人 口 : 20,621 人  
参加者数 : 13,753 人  
参加率 : 66.7%  
取得メダル : 金

秋田県美郷町 ○  
VS  
広島県竹原市 ●

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ホールインワンに挑戦! (グラウンド・ゴルフ場、パークゴルフ場、マレットゴルフ場) 350 人
  - ②おはよう笑顔でラジオ体操 (総合体育館、北ふれあい館、中央体育館) 190 人
    - ・初回から継続して行っている誰でもできるラジオ体操を3地区で行いました。特に主会場の総合体育館リリオスではオープニングセレモニーの後に生演奏でラジオ体操を行い、「手のひらを太陽に」を歌いながら踊りました。他の2地区はCDによりラジオ体操を行いました。
  - ③みさとチャレンジ高齢者バレーボール大会 (総合体育館) 150 人
  - ④秋田ノーザンブレッツ RFC チャレンジキックオフセミナー (総合体育館) 80 人
  - ⑤ラリー回数に挑戦! (総合体育館) 40 人
- 【アスリート・著名人など】  
秋田ノーザンブレッツ RFC (日本トップイーストリーグ Div.1)

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 教育委員会 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会

## メディア

美郷話題新聞

## 広報・周知

4月の上旬に行われる全行政区の行政協力員が集まる会議でチャレンジデーへの協力をお願いしました。防災無線放送で前日と当日全町にチャレンジデーへの参加を呼びかけ、後日には結果をお知らせしました。4回目となった今回は防災無線放送、チラシの全戸配布、町広報誌掲載などの周知によりだいぶチャレンジデーへの認知度が上がったものと思われま。

## 製作物

チラシ 8,000 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 3 枚 / 横断幕 (その他) 1 枚 / のぼり 100 本 / 懸垂幕 1 枚 / Tシャツ 40 枚 / 帽子 30 個 / ポロシャツ 21 枚

## 実施効果

チャレンジデーを通して住民間のコミュニケーションが図られ、健康志向への意識を持って楽しく運動するきっかけを提供できたと思います。

チャレンジデーに合わせ行政区内でグラウンド・ゴルフ大会を企画するなど各団体で少しずつ様々な取り組みが見受けられ、健康維持及び健康増進につながり、運動不足の解消、スポーツへの親しみを感じてもらえたと思います。

## 担当者から

あいにくの天候で住民の皆さんに参加していただけるか不安もありましたが、当日は老若男女問わず様々な住民の方々から報告を頂き、住民のスポーツ意識の高さを感じる事ができました。

目標の参加率を達成することができませんでしたが、今後もチャレンジデーの結果や報告を参考にしながら、町民の健康づくりやスポーツの振興、地域の活性化を図り、スポーツを通じて元気な町を目指して行こうと思います。



おはよう笑顔でラジオ体操



みんなできいきき太極拳

チャレンジデー

# 本県は12勝14敗

参加率 横手市 88.5%、全国5位

全国108市町村が住民のスポーツ参加率を競った「チャレンジデー2016」（25日実施）の結果がまとまった。本県からは9年連続で全25市町村が参加。北秋田市がを市と対戦しており、成績は26戦12勝14敗だった。昨年は25戦12勝5敗だった。県内で最も参加率が高かったのは88.5%の横手市で、全国5番目だった。

県内では56万6004人がしたが、対戦相手の鹿兒島県ウオキンギョや社交ダンスを霧島市は90.1%に上り競り負けた。県平均の参加率は54.4%で、全国の54.3%をわずかに上回った。参加率は25市町村のうち14市町村が昨年を上回った。横手市は昨年より1.6ポイント上昇

チャレンジデー参加率 (単位%)

○ 秋田市	33.5
○ 鹿角市	70.2
× 大館市	65.3
○× 北秋田市	55.6
× 能代市	44.2
× 男鹿市	50.7
○ 湯上市	61.1
○ 由利本荘市	82.8
× にかほ市	42.5
× 大仙市	55.7
× 仙北市	51.8
× 横手市	88.5
× 湯沢市	48.9
○ 小坂町	47.5
○ 小阿仁村	66.2
× 藤里町	87.2
× 八幡町	64.6
× 三橋町	48.0
○ 五城目町	63.7
○ 八郎潟町	73.4
○ 井川町	76.6
○ 大湯村	61.1
○ 美郷町	66.7
× 羽後町	51.7
○ 東成瀬村	87.7

○は勝ち、×は負け

「カテゴリー別優秀賞」を獲得した。チャレンジデーは笹川スポーツ財団と参加市町村の主催。人口規模がほぼ同じ自治体同士で、15分以上運動した住民が人口に占める割合を競い合った。(北嶋彩佳)

秋田市は参加率33.5%で、初参加の昨年より11.8ポイント増えた。市スポーツ振興課は、PRチラシを全戸配布して参加を促したことが奏功したのではないかとしている。人口25万人以上の都市として参加したのは全国で秋田市と山口県下関市のみで、下関市を8.1ポイント上回った秋田市が「カテゴリー別優秀賞」を獲得した。

2016年5月27日 木曜日 秋田魁新報

「チャレンジデー」25日対戦

## 健闘誓いエール交換

美郷町長、広島・竹原市長と

25日の「チャレンジデー」に参加する美郷町の松田知己町長が18日、対戦相手の広島県竹原市の吉田基市長と電話でエール交換した。



両市町はともにスポーツを通じて健康増進や地域活力づくりに取り組んでいる。松田町長は「町では体を動かすことの効果を大切に」、「いきスポーツ健康のまち宣言」を掲げ、竹原市の吉田市長と電話でエール交換する松田町長

美郷町では25日、町内の体育施設を無料開放するほか、電子ピアノの生演奏に合わせたラジオ体操、秋田ノーザンブレックスの選手によるラグビー教室などを行う。(岡部千穂)



みさとチャレンジ高齢者バレーボール大会

2016年5月19日 木曜日 秋田魁新報

## 主 催

チャレンジデー三種町実行委員会 (会長 三浦正隆)  
三種町教育委員会

〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字盤若台 75-1  
三種町琴丘総合体育館内

TEL : 0185-87-2222 FAX : 0185-87-3222

## 結 果

人 口 : 17,751 人 秋田県三種町 ●  
参加者数 : 8,527 人 VS  
参加率 : 48.0% 広島県北広島町 ○  
取得メダル : 銀

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操講習会(桜田敬子先生・小野梨沙さんによる実技指導) (三種町立山本中学校体育館) 250 人
  - ・三種町では昨年度から「ラジオ体操」の普及を掲げており、正しいラジオ体操を身につけるため、チャレンジデーでも昨年に引き続き「ラジオ体操講習会」を実施しました。
- ②みたね大学開講式(軽体操と榊明治による高齢者栄養指導) (山本ふるさと文化館) 200 人
- ③秋田ノーザンハピネッツ学校訪問(3 名) (三種町立琴丘小学校体育館) 200 人
- ④田口成浩さん(秋田ノーザンハピネッツ) とクアオルトウォーキングを楽しもう(釜谷浜コース) 80 人
- ⑤チャレンジ・ラン(三種町誕生 10 周年記念企画) (町内全域) 10 人

### 【アスリート・著名人など】

田口成浩(バスケットボール男子日本代表候補、秋田ノーザンハピネッツ) / 水町亮介、高橋憲一、館山健太(秋田ノーザンハピネッツ) / 本宮隆良(元駒澤大学箱根駅伝優勝メンバー) / 赤染健(元東海大学箱根駅伝メンバー)

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 学校教育担当部署 / 観光担当部署 / 総務担当部署 / 生涯学習担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 商工会・青年会議所 / 高齢者団体・老人クラブ / 婦人会 / JA

## メディア

秋田魁新報 / 北羽新聞 / 秋田放送「ニュース every ABS ニュース」 / 秋田朝日放送「スーパーチャンネル トレタテ!」

## 広報・周知

今回初めて、Facebook を活用して 1 ヶ月前からカウントダウンを行いました。また、1 週間前からは毎日、町内の幼・保育園の協力のもと、園児によるカウントダウンとともにチャレンジデー当日のイベント紹介も行いました。

## 製作物

チラシ 6,400 枚 / ポスター 200 枚 / 大型横断幕 8 枚 / 横断幕(その他) 3 枚 / のぼり 50 本 / 懸垂幕 30 枚 / T シャツ 175 枚 / クリアファイル 1,100 枚 / ボールペン 300 本 / 大型告知用横看板 1 枚

## 実施効果

昨年から町で推奨している「クアオルトウォーキング」に、今年もトップアスリートをお招きしたことで、テレビ局の取材もあり、町内外から大勢参加していただき、普及に少なからずお手伝いがありました。

## 担当者から

当町も 4 年目の実施となりましたが、当日は朝からあいにくの小雨模様で、参加率の低下を覚悟していましたが、そんな状況化でも参加率が上がったことは、チャレンジデーが町民に徐々に浸透してきたのだと思いました。しかしながら、金メダル獲得のためには、まだまだ工夫と努力が必要だと改めて感じました。



チャレンジ・ランがスタート



小雨の中でのクアオルトウォーキング



**主 催**

湯沢市チャレンジデー実行委員会 (会長 齊藤光喜)  
湯沢市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班  
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号  
TEL : 0183-55-8286 FAX : 0183-72-8515

**結 果**

人 口 : 48,014 人 秋田県湯沢市 ●  
参加者数 : 23,465 人 VS  
参加率 : 48.9% 佐賀県神埼市 ○  
取得メダル : 銀

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ① 8人制バレーボール(稲川体育館) 160人
- ② 健康体操(オープニングセレモニー) (皆瀬体育館) 91人
- ③ ラジオ体操(オープニングセレモニー) (高松地区センター) 88人
  - ・ 湯沢市内で早朝6時からが一番早いオープニングセレモニーとして企画されたものであり、地域の協力団体が主導して開催しました。市内では、旧市町村単位の4地域でオープニングセレモニーを企画し、各地域住民と一体となって取り組みました。
- ④ ラジオ体操(オープニングセレモニー) (須川地区センター) 80人
- ⑤ 気分爽快ストレッチ体操(オープニングセレモニー) (雄勝文化会館) 52人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会

**メディア**

エフエムゆーとびあ

**広報・周知**

できるだけ報告しやすいように参加報告用紙の種類を減らし、提出先がわかりやすいよう様式を変更しました。また全戸配布したチラシの内容の一部は地域ごとに別々にしたり、各地域で独自に広報やチラシを作成するなどして当日のイベントの周知をしました。また、対戦相手である神埼市との物産交流として特産品を送りあい、湯沢市ではその特産品が参加報告者の中から抽選で当たる企画を実施し、参加意欲の向上を図りました。

**製作物**

チラシ 38,000枚/ポスター 250枚/横断幕(その他) 4枚/のぼり 536本/Tシャツ 160枚/ポケットティッシュ 8,000個/STAFF キャップ 140個

**実施効果**

少しずつですが、チャレンジデーについて認知されてきているようで、事前に個人や事業所から問い合わせがあったり、報告用紙をもらいにきたりとチラシ等での周知による反応がみられました。当日も参加者だけでなく報告事務やイベント用務等に携わっていただいた方々の多大なる協力があり、チャレンジデーをとおして地域住民が一体となることができました。

**担当者から**

4回目の実施ということでチャレンジデー自体は年々浸透してきていますが、まだ周知しきれていないと感じました。特に参加報告の方法や報告用紙の回収方法などについては市内の各地域の状況にあわせて検討し、確実に回収して参加率の増加につながるような工夫が必要だと考えます。また、笑顔で参加している方々も多く体を動かすことはもちろん、楽しんで参加することで心と体の健康増進に結びつくと思いますので、楽しんで参加できるプログラムの実施も大事だと思いました。



ラジオ体操 (須川地区)



気分爽快ストレッチ体操 (雄勝地域)



●問/湯沢市役所 生涯学習課  
スポーツ振興班 TEL.0183-55-8286  
※湯沢市以外の住民の方はお住まいの地域の自治体へお問い合わせください。

「チャレンジデー」とは、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりやスポーツによる住民の健康づくり、地域の活性化を目的とした住民総参加型イベントです。全国の自治体の中で人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合います。

アンドナウ4月号33ページで紹介した湯沢市の空き缶積み上げ日本一のチームはこのチャレンジデーから誕生しました。湯沢市のチャレンジデーの参加は今年で5回目。昨年は参加率51.7%で「鹿児島県南さつま市」に勝利し金メダルを獲得しました。今年の対戦相手は「佐賀県神埼市」。60%を超える参加率を誇る強豪ということで記録更新、金メダル獲得に燃えています。

湯沢市のチャレンジデー担当の阿部さんは「マインツや筋カトレーニング、体カづくりなど、運動しなきゃと思うけども入ではなかなかできないという方、みんなで楽しく運動を始める絶好のチャンスです。チャレンジデーはスポーツや競技などの激しい運動だけでなく、お買い物目的のウォーキングやゴミ拾いなど、ゆっくりでも休み休みの運動でもOK。赤ちゃんもハイハイで参加できます」と話します。秋田県内すべての自治体が参加するチャレンジデー。このチャンスにみんなで運動を楽しみましょう。

2016年3月 月刊 and now 4月号

## チャレンジデー

### 『スポーツで元気なまちづくり』2016

「スポーツの力で日本を元気に!」を合言葉に、毎年5月の最終水曜日に全国一斉イベント「チャレンジデー」が開催されます。これは、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して何らかのスポーツや運動をした住民の「参加率」を競うスポーツイベントで、秋田県では今年25市町村すべての自治体がエントリーしております。年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、「住民の健康づくり」や「スポーツ振興」、「地域の活性化」のきっかけづくりに最適なスポーツイベントです。

**対戦相手決定!**

湯沢市 vs 佐賀県神埼市  
羽後町 vs 神奈川県松田町  
東成瀬村 vs 長野県南相木村

市町村から  
全国に元気を  
発信!!

**スポーツの力で日本を元気に!**

**5月25日水**  
午前0時 ↔ 午後9時  
**全国一斉開催!!**

健康を意識して体を動かすのであれば、「自転車での買い物」・「ラジオ体操」・「犬の散歩」など…なんでもOKです!「赤ちゃんのハイハイ」でもカウントとなります。

2016年4月 matChu



健康体操 (皆瀬地域)

**主 催**

由利本荘市チャレンジデー実行委員会 (会長 長谷部誠)  
由利本荘市教育委員会 スポーツ課  
〒018-0692 秋田県由利本荘市西目町沼田字弁天町 40-61  
TEL : 0184-32-1334 FAX : 0184-33-2202

**結 果**

人 口 : 80,667 人 秋田県由利本荘市 ○  
参加者数 : 66,810 人 VS  
参加率 : 82.8% 兵庫県豊岡市 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力をを入れているプログラムと内容)**

- ① 総合開会式・チャレンジデーウォーク・カダーレイイベント(文化交流館カダーレ) 506 人  
・文化複合施設のカダーレを使用して総合開会式・チャレンジデーウォーク出発式・サークル発表・インターバル速歩講習会を実施した。サークル発表では、幼稚園児の発表、ダンス、おどり、太極拳などを実施しました。
- ② 岩城小ふれあいチャレンジウォーク(岩城地域) 360 人
- ③ 鳥海小中学校ランニング&ウォーキング(鳥海地域) 270 人
- ④ 保育園児と一緒に「からだ」を動かそう(矢島地域) 100 人
- ⑤ 寿フロッカー(石脇体育館) 88 人

**【アスリート・著名人など】**

ブラウブリッツ秋田(日本プロサッカーリーグ J3 リーグ所属)  
/阿部十全(地元ローカルタレント)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/  
福祉担当部署/観光担当部署/観光担当部署/スポーツ推進委員協議会/  
体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/  
小学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/  
高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

由利本荘市ケーブルテレビ

**広報・周知**

チャレンジデー缶バッジを製作して配布しました。ケーブルテレビのアナウンサーにTシャツの着用をお願いして、放送の際に着てもらいました。

**製作物**

チラシ 30,000 枚/ポスター 300 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 200 本/  
ポケットティッシュ 8,000 個/缶バッジ 1,000 個

**実施効果**

4 回目の実施となりましたが、チャレンジデーの認識が年々浸透してきていると感じました。

同じ日に一つの目標に向かうことで一体感が得られました。また、15 分以上運動することによってスポーツのきっかけ作りの機会を提供できました。

来年は市民の健康づくり、地域づくりのため市民の意識を高めるような取り組みに重点をおきたいです。

**担当者から**

年々「チャレンジデー」というイベントが浸透してきているので、「健康づくり、地域づくり」などイベントの効果の面ももっと PR していきたいです。



岩城小ふれあいチャレンジウォーク



保育園児と一緒に「からだ」を動かそう



東由利総合支所体操



## 見せましょう！“チーム由利本荘”の力を！



### こんなイベントを予定しています！

このほかにも各地域でさまざまなイベントが計画されています。時間や会場など詳しくは、各地域の教育学習課へお問い合わせください。

地域	イベント内容
本荘	チャレンジデーオーク 水中ウォーキング教室 チャレンジ！インターバル速歩
矢島	ヨーガ教室 保育園児とダンス・ゲーム
岩城	目指せ！2016ポイント（バスケット） 岩城小ふれあいチャレンジウォーク （地域の8年寄りふれあいがらウォーキング）
由利	プラウブリッツサッカー教室 インターバル速歩
大内	チームライフル体験 ゲートボール
東由利	八塩いこいの森でパークゴルフ
西目	早朝ラジオ体操 体力テスト（自分の体力年齢は？）
鳥海	8人制バレーボール教室 グラウンドゴルフ大会

### 運動したら、必ず報告を！

運動やスポーツをした方は、当日午後9時までに報告してください。（報告しないと参加人数にカウントされません。）電話・ファクシミリ・メール・集計ボックスへの投函のいずれかの方法で「個人（団体）名・参加人数・内容」の報告をお願いします。

※問い合わせ・報告先  
スポーツ課  
☎ 32-1334  
FAX 33-2202  
または各教育学習課へ

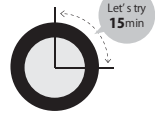


## 対戦相手は兵庫県「豊岡市」

名誉と威信をかけた、「あなた」が主役の戦い。いざ、勝利へ！

8万人市民全員が主役！

# チャレンジデー 2016



## 5月25日（水）開催

### チャレンジデーは参加率を競う大会 “健康で笑顔あふれる地域づくりのために！”

チャレンジデーは、日常的なスポーツの習慣化のためのきっかけづくりやスポーツによる住民の健康づくり、地域の交流や活性化を目的とした「住民総参加型イベント」です。

15分以上の運動なら、散歩やごみ拾いでもOK。あなたの参加がカギとなります。家族や友人、近隣のみなさんと誘い合って、ぜひご参加をお願いします。さあ、レッツ・チャレンジ！！



チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日（今年は25日）に、午前0時から午後9時までの間に15分以上運動やスポーツをした住民の「参加率」を競うイベントです。  
今年の特戦相手は、兵庫県豊岡市。昨年度は本市の81・5%に迫る79・1%の参加率をたたき出した手強い相手です。本市のこれまでの成績は2勝1敗、3勝目のようごみみん

秋田県	由利本荘市	VS	兵庫県	豊岡市
	実施回数 4回目 人口 80,667人 昨年度参加率 81.5%		実施回数 7回目 人口 84,761人 昨年度参加率 79.1%	

※人口は今年2月1日時点

### みんなで運動を習慣化しましょう！

※チャレンジデーの25日は、利用予約が入っている時間帯を除き、市内のスポーツ施設を無料開放します。どなたもご利用ください！

※チャレンジデーの25日は、利用予約が入っている時間帯を除き、市内のスポーツ施設を無料開放します。どなたもご利用ください！

Q スポーツは苦手...  
競技スポーツに限らず、ウォーキングや体操、徒歩での通勤や農作業など、運動が伴うのであれば内容は制限はありません。子どもから年配の方まで、幅広く気軽に参加いただけます。無理なく体力を動かしましょう。

Q 誰でも参加できるの？  
チャレンジデーは参加率で勝負が決まります。負けの場合は、対戦相手の市の旗を市役所に1週間掲げるルールになっています。これが「名誉と威信をかけた住民総参加型」とされる理由です。市にお住まいの皆さんが主役のイベントなのです。

Q いつから始まったの？  
チャレンジデーは、昭和58年にカナダで始められました。日本では平成5年から「笹川スポーツ財団」が普及活動に取り組んでいますが、スポーツ振興や自治体間の交流につながるという利点を捉え、本市でも3年前から参加しています。

チャレンジデーO&A

**主 催**

横手市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 高橋 大)

横手市まちづくり推進部スポーツ振興課

〒013-0060 秋田県横手市条里二丁目2-50

横手就業改善センター内

TEL : 0182-35-2173 FAX : 0182-32-6120

**結 果**

人 口 : 94,448 人

秋田県横手市 ●

参加者数 : 83,598 人

VS

参加率 : 88.5%

鹿児島県霧島市 ○

取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

①市内事業所によるラジオ体操とクリーンアップ(市内各事業所周辺) 3,833 人

- ・ 今回も市内各事業所による合同のラジオ体操とクリーンアップに力を入れました。昨年も開催して大好評で、普段、運動やスポーツから遠ざかっている方々に運動やスポーツを通じて健康に対する意識を高めるきっかけづくりを提供するとともに、なかなか交流のない近隣の事業所と合同で開催することにより、お互いの親睦を深め、さまざまな情報を収集でき、地域の活性化に一役かっていると各事業所に大変喜ばれております。

②市内スーパーマーケット買い物ウォーキング(市内各スーパーマーケット) 3,314 人

③市内小中学校による業間運動(市内各小中学校) 2,428 人

④横手市グラウンド・ゴルフ大会(横手市赤坂総合運動公園) 133 人

⑤てくてくウォーキング(横手市赤坂総合運動公園) 44 人

**【アスリート・著名人など】**

長谷川 誠(bjリーグ 秋田ノーザンハピネッツヘッドコーチ)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／観光担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会

**メディア**

秋田魁新報／横手コミュニティ FM

**広報・周知**

- ・ チャレンジデー当日、一カ月前に事前周知チラシを市内各世帯へ全戸配布し、市民にチャレンジデーの趣旨を理解してもらいました。さらに一週間前に報告書付きのチラシをもう一度全戸配布して市民の参加の関心意欲を高めました。
- ・ 地元コミュニティ FM で毎日のように PR 放送を流しました。

**製作物**

チラシ 50,000 枚

ポスター 300 枚／大型横断幕 4 枚／横断幕(その他) 2 枚／のぼり 50 本／懸垂幕 2 枚／Tシャツ 300 枚／ポケットティッシュ 6,000 個／タオル 600 個

**実施効果**

チャレンジデーを通して市民の健康づくりや、体を動かすきっかけを提供することができました。またスポーツを通じて地域間交流を図ることができ、横手市は人と人とのつながりが強く残っている地域であることを再確認することができました。またスポーツを通じて元気なまちづくりを市民一体となって取り組むことができました。

**担当者から**

横手市は今回でチャレンジデーの実施は 4 回目となります。もう横手市では『5 月最終週の水曜日はチャレンジデー』と市民に認識されており、中には開催日が近くなると個人でチャレンジデーの企画、準備をし、チャレンジデー当日にたくさんのお仲間と楽しくスポーツを行っている方もおられました。このように横手市民にとって確実にチャレンジデーが浸透してきていると実感できました。今後もチャレンジデーを契機に市民一人一人が繋がり合い笑顔で元気のあるまちづくりをさらに進めていきたいと思っております。



チャレンジデーオープニング



マラソングール

25日「チャレンジデー」

## 横手市長、健闘誓う

対戦の鹿兒島・霧島市長に

住民のスポーツ参加率を自ら（笹川スポーツ財団主催）治体間で競う「チャレンジデー」が25日に開かれるのを前に、



横手市役所本庁舎の応接室で電話した高橋市長は、横手市は県内最大の果樹産地であ

横手市長は高橋大市長は20日、対戦相手の鹿兒島霧島市の前田終止市長と、インターネットを通じてエール交換した。

ることや、横手やきそばなどの名物があることをPR。対戦については「昨年同様の好成績を収めるため、真剣勝負を挑む」と呼び掛けた。

前田市長は「参加率の増加は市の一体感が高まることにつながる。正々堂々戦いたい」と意気込みを語った。

横手市のチャレンジデー参加は4回目。昨年は福岡県大牟田市と対戦し、参加率86・9%で勝利。カテゴリー5（人口7万人以上、25万人未満）でトップの成績を収めた。霧島市は人口約12万6千人で、3回目の出場。昨年の参加率は80・7%で、同カテゴリーでは3位だった。

25日は横手市の赤坂総合公園で午前9時から開会式を行い、笹川スポーツ財団の小野清子理事長（秋田市出身）やプロバスケットボール・秋田ノーザンハピネッツの長谷川誠ヘッドコーチ（横手市出身）が激励に訪れる。

（加藤慶一郎）

2016年5月21日 土曜日  
秋田魁新報



横手市の激励に訪れた小野理事長（左から2人目）と長谷川さん（前列右）

## 小野清子さんと長谷川誠さん チャレンジデー応援

横手市

全国の市町村同士で住民の「ンジデー」（笹川スポーツ財団主催）が全国一斉に行われた

25日、同財団の小野清子理事長（長80）秋田市出身とプロバスケットボール・秋田ノーザンハピネッツヘッドコーチの長谷川誠さん（46）横手市出身が横手市を訪れ、市民を激励した。

小野理事長は、同市が昨年のチャレンジデーで参加率86・9%で福岡県大牟田市に勝利し、カテゴリー5（人口7万人以上、25万人未満）でトップの成績を収めたことから来県。長谷川さんは横手市のスポーツ大使を務めている。

同市の赤坂総合公園で行われた開会式では、小野理事長が「市民が一体となるこの日を契機に、さらに笑顔が広がる町になってほしい」とあいさつ。長谷川さんはTKB Jリーグ2015〜16年シーズン3位となったことを振り返りつつ「秋田は熱い人が多い。けがのないよう、楽しみながら一日頑張ろう」と激励した。

開会式後は、市民ら13人が約63分のチャレンジランニングに出発。ゴールから約1キロ手前から高橋大市長も加わり汗を流した。

（加藤慶一郎）

2016年5月26日 木曜日 秋田魁新報



空き缶積み上げ

## 主 催

鶴岡市チャレンジデー実行委員会 (委員長 榎本政規)

鶴岡市教育委員会 スポーツ課

〒997-0825 山形県鶴岡市小真木原町2番1号

小真木原総合体育館内

TEL : 0235-25-8131 FAX : 0235-25-8134

## 結 果

人 口 : 131,629 人

参加者数 : 28,525 人

参加率 : 21.7%

取得メダル : 銅

山形県鶴岡市 ●

VS

山口県宇部市 ○

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

①天神祭ウォーク 一道真公の和歌集めー(天神祭パレード周辺) 888 人

②スポーツ無料体験教室(市内各所) 425 人

・市内の各総合型地域スポーツクラブから協力していただき、17のスポーツ教室等の無料体験を実施しました。

このプログラムは、運動することへ動機づけとなることはもとより、総合型地域スポーツクラブへの加入を促進することによって、チャレンジデー当日以降、運動習慣の定着を期待するものです。

## 実行委員会の構成団体

スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 高等学校 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 障害者団体 / 金融協会

## メディア

荘内日報 / 山形新聞

## 広報・周知

市広報や地元マスメディアを活用した広報活動を中心に周知を図ったほか、各団体に対しては市一番のイベント、天神祭に配慮しながらも可能な限り参加協力を依頼するなど、チャレンジデーへの参加意識を高める周知活動を行いました。天神祭と同日開催という事で、参加人数は激減してしまいましたが、チャレンジデーを認知している市民が増加しており、一定程度定着してきたのではないかと考えております。

## 製作物

チラシ 50,000 枚 / ポスター 300 枚 / 大型横断幕 2 枚 / のぼり 60 本 / Tシャツ 250 枚 / ポケットティッシュ 10,000 個

## 実施効果

- ・ 普段あまり運動をしない方が運動に取り組むきっかけとなりました。
- ・ 自治会などで取り組むことによって、スポーツを通じた地域コミュニティの交流が図られました。
- ・ 幼児から高齢者まで幅広い世代が楽しみながら運動をすることによって、市民の体力づくりにつながりました。
- ・ 運動を意識することによって、日常生活の動きも健康づくりにつながることを啓発できました。
- ・ 鶴岡市の魅力を PR することができました。

## 担当者から

チャレンジデーは、日常運動していない方も、体を動かしてみようと思う良いきっかけとなっています。市民の皆さんが日常的に運動に親しみ、健康でいきいきとした生活を送ることによって、市全体が明るく元気なまちになることを願いこのイベントに参加させて頂きました。今後も、チャレンジデーをきっかけとして運動習慣の定着化に向けた取り組みをしながら、本市スポーツ推進計画の基本目標「生命いきいきスポーツのまち鶴岡の創造」を目指して取り組んでいきます。



天神祭でチャレンジデー PR



鶴岡市民健康スポーツクラブ ノルディックウォーク教室



**主 催**

米沢市チャレンジデー実行委員会 (委員長 中川 勝)  
社会教育・体育課

〒992-0012 山形県米沢市金池3丁目1番14号  
置賜総合文化センター

TEL : 0238-23-6535 FAX : 0238-22-5502

**結 果**

人 口 : 83,804 人 山形県米沢市 ●  
参加者数 : 21,412 人 VS  
参加率 : 25.6% 東京都狛江市 ○  
取得メダル : 銀

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①モンテディオ山形ふれあいサッカーフィールド(米沢市営人口芝サッカーフィールド) 159人
- ②スポーツ GOMI 拾い(米沢市役所周辺) 116人  
・ファイナルイベントで自動車教習所のコースを使い、4人1チームになり、1周交代の3周ずつ自転車レースを行いました。  
自動車教習所の全面協力のもと、実際のコースを使いレースができたので大変盛り上がりしました。
- ③ママチャリレース(米沢ドライビングスクール) 40人
- ④ラジオ体操(米沢市営体育館) 40人

**【アスリート・著名人など】**

モンテディオ山形(サッカー)J2リーグ)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ

**メディア**

米沢新聞／山形新聞／NCV

**広報・周知**

小学校・中学校の校長会に直接働きかけ、全学校に協力していただきました。

チャレンジデー実行委員会の公式 Facebook ページを開設し、チャレンジデーの準備状況や当日の様子などをアップし、周知を図りました。

**製作物**

チラシ 31,700 枚／ポスター 300 枚／大型横断幕 2 枚／横断幕 (その他) 10 枚／のぼり 30 本／Tシャツ 101 枚

**実施効果**

初めての実施でしたが、チャレンジデーを通して普段運動しない方も、運動、スポーツに対する意識を高める良い機会となりました。

今年は負けてしまいましたが、「来年は頑張りましょう!」との

声も多く寄せられました。

**担当者から**

初実施でしたが、目標値 30%を掲げ周知に取り組みました。

チャレンジデーとは何か、周知が難しく目標値には届きませんでしたが、個人で運動・スポーツをしている方がたくさんいることに驚きました。今年は惨敗してしまいましたが、来年は今年の経験を生かし、周知に早くから取り組んでいきたいと思います。

また、チャレンジデー当日だけでなく、日ごろから 15 分以上の運動やスポーツに取り組むことが大切であることを併せて周知していきたいと思います。



モンテディオ山形ふれあいサッカーフィールド



ママチャリレース



スポーツ GOMI 拾い

# 「15分の運動」報告で参戦

## 25日 米沢初参加の「チャレンジデー」

25日に全国各地で一斉に展開される、住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」まで1週間と迫り、初参戦する米沢市の実行委員会では大勢の参加を呼び掛けている。当日は市内各地でオリジナルイベントなどが企画されており、目指すは「チーム米沢」一丸となった初勝利だ。

チャレンジデーは、笹川スポーツ財団（小野清子理事長）と東京都健康づくりや地域活性化などを目的に、毎年開催。人口規模が同程度の自治体同士が、15分以上継続した運動した住民の参加率を競う。

米沢市の対戦相手は、2回目の参加という東京都狛江市（こまえし）きょう18日午前9時から、市営体育館で両市長がテレビ電話を使い、エール交換する。

参加方法は、25日（午前9時～午後9時まで）にスポーツのほか家事や仕事、買い物など15分以上体を動かす。本部に報告すれば完了。写真や証明書事前申請などは一切不要で、自己申告という。当日は、さまざまな愛好団体などが太極拳体験教室や体操講座、サイクリングなどを開催し、一緒に盛り上げていく予定だ。また、ラジオ体操は誰でも実施可能。実行委員会では、午前6時から市営体育館で「ラジオ体操」と、午後6時から花沢の米沢自動車学校で1時間耐久ママチャリレース「C-1グランプリ」を実施。ラジオ体操は誰でも実施可能。

参加方法は、25日（午前9時～午後9時まで）にスポーツのほか家事や仕事、買い物など15分以上体を動かす。本部に報告すれば完了。写真や証明書事前申請などは一切不要で、自己申告という。当日は、さまざまな愛好団体などが太極拳体験教室や体操講座、サイクリングなどを開催し、一緒に盛り上げていく予定だ。また、ラジオ体操は誰でも実施可能。



ポスターでPRする実行委員

参加自由で、終了後は豪華賞品が当たる抽選会が行われる。C-1グランプリは、20歳以上の男女が対象。4人1チームのリーグ方式で1時間走行し、周回数を競う。定員は10組で、20日までエントリーが必要。午前8時半～午後9時半までに電話かFAX、メールで報告すると、カウントされる。集計結果は午後10時に発表され、約1時間後に勝敗が決定するという。実行委員会では、難しく考えず気軽に15分間体を動かす、報告してほしい」とPRしている。

「C-1グランプリ」の申込みや参加報告、問合せは、本部TEL(23) 6535、FAX 0238(22) 5502、メール taiku@city.yonezawa.yamagata.jp

2016年5月18日 水曜日 米沢新聞

# 狛江市に負けないゾ!!

チャレンジデー 各地で市民が楽しく運動



住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が25日、全国128市町村で行われ、人口規模の近い2自治体が運動した住民の参加率を競った。米沢市は初参加し、東京都狛江市と対戦。特別企画などを通して乳児からお年寄りまでが体を動かす「チーム米沢」で勝利を目指した。

チャレンジデーは、15分以上運動した住民の参加率を自体が競うイベント。健康づくりや地域活性化などを目的に、東京都の笹川スポーツ財団（小野清子理事長）が毎年開催している。

米沢市内では、市営体育館で行われた早朝ラジオ体操がオープニングイベント。小学校の全校朝会が「スポーツ朝会」となったり、米沢二中では「ぞうきんがけリレー」が行われ、全校生徒約450人が参加した。

クラス対抗戦で、体育館に約25組コースが設けられた。4人1組のタイムを繰り返し、タイムを加算。ポイントに換算して最終得点を競った。

コース内でのリレーポイントは自由で、生徒たちはゴール直前に3人を配置するなど工夫。「1位を目指さず」などと声を掛け合い、楽しんで全力で駆け抜けていた。

生徒会長の3年生後藤大空（そら）君（14）は「リレーも狛江市との対戦も、力を合わせて勝ちたい」と話していた。

また、置賜総合文化センターではイベント企画として育児講座に参加がカウントされ、勝敗は午後10時半ごろに決まる見込み。

「ベビーマッサージ」が行われ、市内の乳児とその保護者14組が参加した。

乳児の体を優しくほぐすことで、血行を良くし、発育を促すベビーマッサージ。親子の触れ合いを促すことが最大の効果といい、参加者たちは笑顔でいた。優しい音楽とアロマの香りが穏やかな雰囲気を演出した。

塩井町塩野の中村恵さん（35）は「初めて行ったが、子どもも終始笑顔。今度もやっていきたい」と話していた。

実行委員会への報告で参加がカウントされ、勝敗は午後10時半ごろに決まる見込み。

2016年5月26日 木曜日 米沢新聞

#### 主 催

伊達市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 仁志田昇司)  
伊達市スポーツ振興公社  
〒960-0634 福島県伊達市保原町大泉字宮脇 265 番地  
TEL : 024-597-8015 FAX : 024-597-8016

#### 結 果

人 口 : 62,944 人 福島県伊達市 ●  
参加者数 : 17,515 人 VS  
参加率 : 27.8% 福岡県八女市 ○  
取得メダル : 銅

#### プログラム (太字 : 特に力をを入れているプログラムと内容)

- ① 教育長といっしょにマラソンとラジオ体操(伊達市立梁川小学校) 422 人
- ② ファイナルイベント(保原総合運動公園) 117 人
  - ・ ファイナルイベントでは、チャレンジデー 1 日のまとめとして、性別年齢を問わず、誰でも参加できるニュースポーツ(囲碁ボール、ラダーゲッター、ペタンク、エックスロープバトルなど)の紹介をしました。参加者全員でラフターヨガを体験して、和やかな雰囲気の中で最後を締めくくりました。

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/観光担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/レクリエーション協会/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/商工会・青年会議所/社会福祉協議会

#### メディア

福島民報新聞/福島放送(KFB)「スーパー」チャンネル/福島民友新聞

#### 広報・周知

- ・ 参加が決定した時期にチラシを町内会単位に回覧して実施日の周知の徹底をはかりました。
- ・ 対戦する自治体が決定した段階で、報告書付きチラシを全戸に配布しました。
- ・ 新聞やケーブルテレビなどのメディアを活用して、PR を図りました。

#### 製作物

チラシ 30,000 枚/ポスター 250 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり 70 本/Tシャツ 120 枚/ポケットティッシュ 15,000 個/蛍光マーカーボールペンセット 1,000 個/STAFF ポロシャツ 20 枚

#### 実施効果

- ・ 多くの方にニュースポーツを紹介することができました。(キンボール・カントリーダンス等)
- ・ 町内会単位、グループ単位で史跡めぐりやウォーキングなどの

イベントが実施され、地域のコミュニケーションをさらに深めることができました。

- ・ 報告書付きチラシに「当日のチャレンジデープログラム」を掲載するためにウォーキングコースの選定等を依頼したり、史跡を巡るコースを企画した。地元の名所旧跡の再発見につながりました。

#### 担当者から

- ・ 参加していただいた市民の皆さんから、「イベントに参加して楽しかった」という感想を頂き、スポーツと健康に対する関心の高さを実感することができました。



オープニングイベント IN 梁川小



ウォーキングへ出発



エール交換



人口規模が同程度の自治体間で、15分以上継続して運動やスポーツに取り組んだ住民の参加率を競う、笹川スポーツ財団(東京都)主催の「チャレンジデー2016」は25日に開かれる。参加する伊達市は17日、対戦相手の八女市(福岡県)とエール交換し、お互いの健闘を誓った。

## 対戦市長とエール交換

### チャレンジデー 伊達市目標50%以上



エール交換した湯田教育長(右) スクリーン上は三田村市長

伊達市は4回目の参加。目標参加率を50%以上に掲げ、昨年に続いての勝利を目指す。市役所に設けられたテレビ電話でエール交換した。伊達市の湯田健一教育長は「両市は風土などで共通点を感じる。似たような思いを持って頑張りたい」、八女市の三田村統之市長は「うちにとって初めてのチャレンジデー。全力を尽くしたい」と述べた。2人とも東日本大震災や熊本地震での支援に対して感謝を述べ、互いの地方の復興を誓い合った。

2016年5月18日 水曜日 福島民友新聞

### スポーツイベント「チャレンジデー」

## 来年こそ勝利目指す

住民の参加率を自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー2016」は二十五日、全国各地で盛り上げられ、四年連続で参加した伊達市は福岡県八女市と対戦。伊達市は27・8%で八女市の39・4%を下回った。伊達市内の学校や公園では市民が心地よい汗を流した。

笹川スポーツ財団(東京)の主催。人口



マラソンで元気に駆け出す児童＝梁川小  
児童400人元気に駆けっこ 梁川小でオープニングイベント

規模が同程度の自治体同士が対戦する。午前零時から午後九時までに、自治体から約百九十万人以上が参加し、平均参加率54・3%だった。伊達市は昨年50・9%だったが、23・1ポイント下がった。市は天候不順が影響したとみられており、担当者は「来年こそ勝利を目指す」と再誓いを立てていた。



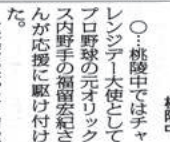
多様な種目に汗を流す参加者。梁川小でオープニングイベントを行った。多様な種目に汗を流す参加者。梁川小でオープニングイベントを行った。

実施した。約百人が集まり、リレー、ハンマラン、タラクビ、キンボール、ペタンクなどを実施した。イベントを盛り上げようと、参加者は元気がいいに園内を駆け回った。

## 伊達市27・8%で惜敗

規模が同程度の自治体同士が対戦する。午前零時から午後九時までに、自治体から約百九十万人以上が参加し、平均参加率54・3%だった。伊達市は昨年50・9%だったが、23・1ポイント下がった。市は天候不順が影響したとみられており、担当者は「来年こそ勝利を目指す」と再誓いを立てていた。

元プロ野球選手 福留さんが指導



投手動作を指導する福留さん＝桃陵中

の姿勢や送球までの動作など実技を交えて指導した。生徒はプロの技術を見て感銘を受けた。

▽自治体間でスポーツをした住民の参加率を競う「チャレンジデー2016」は25日、全国各地で行われた。本県からは伊達市が参加し、子どもから高齢者まで多くの市民が運動に親しんだ。写真。

▽：笹川スポーツ財団(東京)の主催。15分以上継続して運動することが条件で、人口規模が同程度の自治体間で参加率を競った。▽：同市は4年連続の参加で、今回は八女市(福岡



2016年5月26日 木曜日 福島民友新聞

2016年5月28日 土曜日 福島民報新聞

## 主 催

常陸太田市チャレンジデー実行委員会 (会長 大久保太一)  
常陸太田市教育委員会 スポーツ振興課  
〒313-0007 茨城県常陸太田市新宿町1番地  
山吹運動公園市民体育館内  
TEL : 0294-73-0090 FAX : 0294-73-1230

## 結 果

人 口 : 54,584 人 茨城県常陸太田市 ●  
参加者数 : 30,869 人 VS  
参加率 : 56.6% 徳島県鳴門市 ○  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① 温水プールでレッツチャレンジ(常陸太田市温水プール) 120人
- ② 常陸太田ジュニア陸上競技教室(山吹運動公園運動広場) 80人
- ③ リズムにのって楽しく遊ぼう(山吹運動公園武道館) 75人
- ④ 「ヘルシー・ライフ」ラジオ体操教室(山吹運動公園市民体育館) 57人

- ・ いつでも、どこでも、だれでも気軽に取り組むことのできる、ラジオ体操による健康づくりを推進するため、元NHKテレビラジオ体操アシスタントの稲垣早織氏を講師として招き、ラジオ体操の正しい動き、効果等を含めた実演指導による教室を実施しました。

- ⑤ 久自楽舞で楽しく踊ろう(山吹運動公園市民体育館) 53人

### 【アスリート・著名人など】

稲垣早織(北京オリンピック新体操団体競技出場(団体総合10位))

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/シルバーリハビリ体操指導士会/公民館連絡協議会/県アマチュアゴルフ連盟/県軟式野球連盟常陸太田支部

## メディア

茨城新聞

## 広報・周知

市ウェブサイト掲載と併せて市フェイスブック、まちレポ【関東版】等を活用して広報・周知を行いました。

また、スマートフォンや携帯電話から手軽に参加報告ができるよう、チラシに市ウェブサイト(参加報告専用フォーム) アクセス用バーコードを印刷し作成のうえ、全世帯に配布しました。結果、インターネットによる報告の増加につながったと考えられます。

## 製作物

チラシ 33,000 枚/ポスター 245 枚/大型横断幕 1 枚/のぼり

250 本/Tシャツ 50 枚

## 実施効果

- ・ 町会において、ラジオ体操を始めとする運動習慣づくりにつながる取り組みが増え、市民の健康づくりに対する意識の高まりを実感することができました。
- ・ 日頃かかわりの少ない企業や事業所等を訪問することで、市の健康づくりの取り組みを広くPRすることができ、今後の事業展開の幅を広げることができました。
- ・ NHKテレビ・ラジオ体操元アシスタントを講師として招き、ラジオ体操教室を開催したことで、市として普及に取り組んでいるラジオ体操を広く市民に周知することができました。

## 担当者から

今回で8回目の開催でしたが、改めて、市民に開催趣旨の周知を図り、1日限りのイベントとして終わらず、運動習慣の定着化や健康づくり事業につなげられるイベントにしたいという強い思いで、これまで以上に積極的な啓発活動を行いチャレンジデーに臨みました。

結果、対戦に敗れましたが、過去最高の56.6%の参加率を達成することができました。また、今回は、町会が主体となった取り組みが増え、市民の健康意識の高まりを感じることができました。



多くの市民が参加したラジオ体操教室



みんなで楽しく久自楽舞を踊ろう

## スポーツチャレンジデー 常陸太田56.6%参加

過去最高も鳴門市に惜敗



ラジオ体操教室に参加した市民ら＝常陸太田市新宿町の山吹運動公園市民体育館

自治体間で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2016」が、全国の128市町村で行われた。8度目の参戦となる常陸太田市は徳島県鳴門市と対戦。参加率は鳴門市の58.5%に及ばなかったものの過去最高の56.6%に達し、市民ら3万869人がラジオ体操やグラウンドゴルフ、ウォーキングなどで心地よい汗を流した。

同市新宿町の山吹運動公園市民体育館では、北京五輪新体操日本代表の稲垣早織さんを講師に迎えラジオ

体操教室が開かれた。稲垣さんは一つ一つの動作の意味などを解説し、ユーモアを交えながら効果的な手足の曲げ伸ばし方などを実演。参加した市民約60人が約1時間半体を動かした。チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日(今年一斉に開かれる住民参加型スポーツイベント。競技や種類を問わず、午前0時から午後9時までの間に15分以上運動した住民らの参加率を、人口規模の近い自治体同士で争う。

2016年6月7日 火曜日 茨城新聞



「トマリ」をねらえグラウンド・ゴルフ

住民の健康意識を高め、運動習慣の定着化を図ろうと、常陸太田市は25日に全国で開催される住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」に参戦する。

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に行われ、スポーツや運動をした住民

らの参加率を、人口規模の近い対戦自治体同士が競う。今年は今全国128市町村が参加。2009年から参加し、8度目の参戦となる同市は徳島県鳴門市と対戦する。昨年は過去最高の55.4%で徳島県徳島市に勝利した。参加対象は25日午前0時

## 「運動」60%超目標 住民参加呼び掛け

25日、常陸太田

午後9時に、同市内で15分以上体を動かした人。野球やゴルフ、ウォーキング、ダンスなどジャンルは問わない。住民以外の通勤・通学者、観光客なども可。参加者は電話やファクス、市内24カ所に設置する集計箱、インターネットで集計センターに報告する。

当日は市内でラジオ体操や陸上などの教室、ソフトボール、グラウンドゴルフなどの大会が開かれる。市スポーツ振興課は「市民の関心も年々高まっている。参加率60%超を目指したい」としている。問い合わせは回線0294(7)0090。

2016年5月21日 土曜日  
茨城新聞

## 主催

小鹿野町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 福島弘文)

小鹿野町教育委員会 社会教育課

〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 167-1

小鹿野文化センター内

TEL : 0494-75-0063 FAX : 0494-75-0032

## 結果

人口 : 12,428 人

埼玉県小鹿野町 ○

参加者数 : 7,482 人

VS

参加率 : 60.2%

宮城県七ヶ浜町 ●

取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① **ファイナルイベント(軽スポーツ体験・バレー・インディアカ体験等)** (小鹿野中学校校庭・体育館・町民体育館) 504 人  
・インディアカ、ストラックアウト、グラウンド・ゴルフ、軽スポーツ、ロープ・ジャンプ・X、輪投げ等幅広い世代が楽しめるイベントです。
- ② **グラウンド・ゴルフ大会**下小鹿野グラウンド) 181 人
- ③ **町民ウォーキング**(町内各所) 61 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／スポーツ少年団／レクリエーション協会／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ

## 広報・周知

新聞折込のチラシを町内のみならず、周辺地域にも配布し、チャレンジデーの参加を呼びかけました。

また今年は企業にも積極的に参加を呼びかけ、当日は多くの企業から参加をいただきました。

## 製作物

チラシ 10,500 枚／ポスター 100 枚／大型横断幕 4 枚／Tシャツ 190 枚／ポケットティッシュ 1,000 個／参加報告ボックス 96 個

## 実施効果

チャレンジデーを実施したことにより、普段運動をしない方が運動に触れる機会を提供することができました。

これを機に、定期的に運動を行う、と言っていた方がいました。



グラウンド・ゴルフ大会



ロープ・ジャンプ・X



**主 催**

秩父市チャレンジデー実行委員会 (会長 久喜邦康)  
市民部 市民スポーツ課  
〒369-1871 埼玉県秩父市下影森 924-1  
秩父市スポーツ健康センター内  
TEL : 0494-25-5230 FAX : 0494-22-4770

**結 果**

人 口 : 65,256 人  
参加者数 : 48,082 人  
参加率 : 73.7%  
取得メダル : 金

埼玉県秩父市 ○  
VS  
沖縄県南城市 ●

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ① **ペタンク・グラウンド・ゴルフニアピン大会**(スポーツ健康センター) 510 人
  - ・ 秩父市は「ペタンク日本一のまち」を目指しており、東日本大会の開催地にもなりました。チャレンジデー当日は、ペタンク連盟指導のもと、初めての方にも楽しんでいただきました。毎年、このプログラムを楽しみにしている参加者が多く、誰でも手軽に楽しめる生涯スポーツとなっています。
- ② ラジオ体操(スポーツ健康センター歴史文化伝承館) 480 人
- ③ エアロビクス・3B 体操(文化体育センター) 390 人
- ④ **民謡の集い**(スポーツ健康センター) 120 人
- ⑤ C ダンス(スポーツ健康センター) 80 人

**【アスリート・著名人など】**

田村恵美(NPO 法人全国ラジオ体操連盟指導委員(元 NHK テレビ・ラジオ体操アシスタント))

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／レクリエーション協会／商工会・青年会議所／自治会・町内会

**メディア**

読売新聞

**広報・周知**

市報への掲載や、チャレンジデーポスターを貼った広報車による巡回を行いました。

**製作物**

チラシ 2,800 枚／ポスター 600 枚／大型横断幕 1 枚／のぼり 50 本／Tシャツ 220 枚／ポケットティッシュ 1,500 個／フェイスタオル 200 個

**実施効果**

各町会や企業、団体、施設などの協力もあり、地域を中心とした生涯スポーツへの意識が高まっています。

**担当者から**

今年は、過去最高の参加率となり、チャレンジデーが確実に定着してきていると感じました。



民謡の集い



いざ！ごみ拾い！



C ダンス！

## チャレンジデー

### 秩父市など勝利

人口規模がほぼ同じ自治体同士で、運動した住民の参加率を競う「チャレンジデー」が行われ、県内から参加した秩父市、小鹿野町が勝利した。

全国の128自治体が実施した。午前0時～午後9時に15分以上継続して運動することが条件。沖縄県南城市と対戦した秩父市は、3万人以上7万人未満クラス（31自治体）最多の73・7%でカテグリー別優秀賞に輝いた。小鹿野町は60・2%で宮城県七ヶ浜町を破った。

秩父市、小鹿野町はのぼり旗やスポーツ施設の無料開放で住民の参加を呼びかけた。同市役所ホールでは昼休み時間に、ラジオ体操で職員や宣伝部長の「ポテくまくん」が体をほぐした。



ラジオ体操に続いて軽い運動に取り組む市職員ら（秩父市役所で）

2016年6月8日 水曜日 読売新聞

**主 催**

昭島市チャレンジデー実行委員会 (会長 北川穰一)

昭島市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

〒196-0033 東京都昭島市東町 5-13-1

総合スポーツセンター内

TEL : 042-544-4152 FAX : 042-544-4159

**結 果**

人 口 : 112,849 人

参加者数 : 96,047 人

参加率 : 85.1%

取得メダル : 金

東京都昭島市 ○

VS

大阪府柏原市 ●

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

①グラウンド・ゴルフ交歓大会(昭島市陸上競技場) 310 人

②還暦野球大会(ネッツ多摩昭島スタジアム) 200 人

③ポールウォーキング(旧つつじが丘南小学校) 100 人

- ・ポールウォーキングとは、スキーストックに似たものを、両手に持ち校庭のトラックを背筋を意識して伸ばした姿勢のまま歩く競技です。日常生活のなかでも、「ただ歩く」のではなく、常に姿勢を意識して歩くことが大切ではないかと思いました。

④山歩き体験トレイルレーン(昭和の森アウトドアビレッジ) 33 人

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／環境担当部署／スポーツ推進委員協議会／体育協会／総合型地域スポーツクラブ／小学校(校長会)／中学校(校長会)／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ

**メディア**

東京新聞/J:COM

**広報・周知**

- ・自治会連合会の協力で各ブロックに、のぼり及びポスターの掲出を依頼した。
- ・事前PRとしてスポーツ推進員の協力のもと、駅頭でティッシュ配付を行った。昨年以上に数量を増やし、より多くの市民へ周知を図った。

**製作物**

チラシ 13,000 枚／ポスター 1,300 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕(その他) 5 枚／のぼり 130 本／Tシャツ 87 枚／ポケットティッシュ 18,600 個

**実施効果**

啓発の一環として駅頭ティッシュ配付を毎年行っていますが、通行人からは、「あっ チャレンジデーね 今年もやるんですね」

という言葉をいただくと、かなり浸透してきたのではないかと思います。また、のぼりの設置場所を自治会連合会に協力をいただき各ブロック毎に設置をお願いしました。事前にPRをすることにより、より多くの方々に周知できたのではないかと思います。

**担当者から**

今回 5 回目の実施で、目標として参加率を初めて上まわることができたという点では達成感があったと思います。これは、事務局だけが感じていることではなく、各方面の関係者ならびに実行委員会の委員の方々も感じているのではないかと思います。

また、このイベントを通して体を動かすことの大切さを日常から続けていただければ幸いです。



ポールウォーキング



ゲートボール



卓球協会



**昭島市主催**

E N J O Y  
親 子 体 操 !!

～いきいきとした生活を送るために～

「昭島チャレンジデー2016」の開催日に専門のインストラクターの指導のもと、親子で運動する機会を設けました。お子様の運動能力の向上、親御さんの運動不足解消、脳への刺激、ストレス発散、同世代のコミュニケーションの場として、気軽にご参加ください！！

- 対象者** 3歳～未就学児
- 定員** 親子20組（定員になり次第、募集締め切り）
- 日程** 5月25日（水）
- 時間** 10：00（受付開始）  
10：30～11：30（休憩含む）
- 会場** フォレストイン昭和館（詳細は裏面に記載）
- 持ち物** 動きやすい服装、動きやすい靴、タオル、飲料水等
- 申込期間** 5月16日（月）～24日（火）まで

※平日9：00～17：00まで申込受け付けております。（土日・祝日を除く）

申込・問い合わせ先： 昭和の森エリアサービス株式会社  
TEL：042-519-8328 / 070-1549-4168

チャレンジデー PR用チラシ

#### 主催

小金井市チャレンジデー実行委員会 (会長 西岡真一郎)  
 小金井市教育委員会生涯学習部生涯学習課  
 〒184-8504 東京都小金井市前原町 3-41-15  
 小金井市役所第二庁舎 7階  
 TEL: 042-386-2462 FAX: 042-383-1133

#### 結果

人口: 118,015人 東京都小金井市 ○  
 参加者数: 97,473人 VS  
 参加率: 82.6% 秋田県大仙市 ●  
 取得メダル: 金

#### プログラム (太字: 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操(都立小金井公園) 506人
- ②ウォーキングイベント(市内(武蔵小金井～東小金井)) 70人
- ③セバタクロー体験会(小金井市総合体育館) 40人
  - ・小金井市在住で小金井市観光大使である寺本進さん(元セバタクロー日本代表)、青木沙和さん(現日本代表)とセバタクロー関係者による、デモンストレーションと子どもから大人までの体験会を開催。参加してくれた方の殆どがサッカー経験者であり、迫力あるデモンストレーションを見た後に、4コートに分かれて直接指導を受けました。地元J:COMテレビの取材も入ったせいか、参加者たちは張り切っていた様子でした。
- ④フェルデンクライス健康体操教室(小金井市総合体育館) 25人
- ⑤カントリーラインダンス(小金井市総合体育館) 18人

#### 【アスリート・著名人など】

金田和也(ロンドンオリンピック競泳) / 伊藤友広(アテネオリンピック陸上競技 400×4) / 寺本 進(元セバタクロー日本代表・仁川アジア大会銅メダル) / 青木沙和(現セバタクロー日本代表)

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 特別支援学校 / 大学・短大・高専・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / シルバー人材センター / 市議会議長 / 市商工会 / 医師会

#### メディア

J:COM チャンネル「デイリーニュース」

#### 広報・周知

駅長に協力をいただき、横断幕、ポスターを掲示させていただいたほか、夕方、改札口外側でティッシュ配りを行いました。また、市内学校、企業、事業所にチラシ等をもって協力依頼に奔走しました。

事前登録の手法を使い、かなりの数の参加者がいました。

#### 製作物

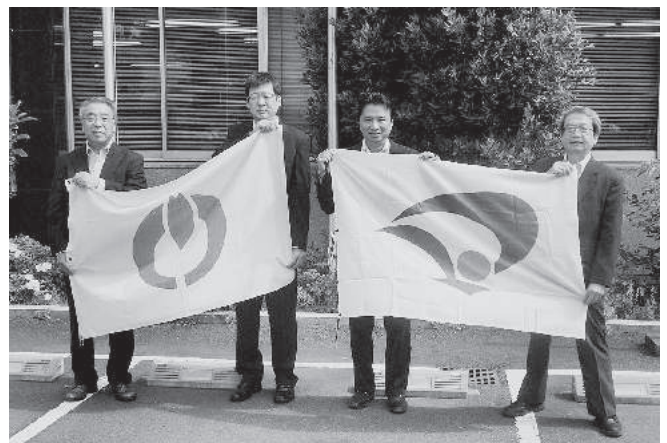
チラシ 25,750枚 / ポスター 200枚 / 大型横断幕 1枚 / 横断幕 (その他) 2枚 / のぼり 50本 / 懸垂幕 1枚



金田和也さん共にと体操



セバタクロー体験会



両市の旗を掲げる

5月25日(水) 午前0時～午後9時

住民総参加型イベント

# 小金井チャレンジデー2016を実施

## 体を動かして健康づくりをしませんか

市では、市民一人ひとりの体力や環境に合わせた健康づくりを全市的に展開する取り組みとして、チャレンジデーに参加します。この参加を機会に、市民のスポーツの習慣化やスポーツ人口を拡大し、健康増進へとつなげていくことをめざします。詳しくはお問い合わせいただくか、市ホームページまたはちらし(生涯学習課等で配布)をご覧ください。  
**主催** 小金井市、(公財) 笹川スポーツ財団ほか  
**問合せ先** 生涯学習課スポーツ振興係 (市役所第二庁舎7階 ☎042-386-2462)

## チャレンジデーとは

市域内で15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした方の参加率を、人口規模が同規模の自治体と競い合う住民総参加型のスポーツイベントとして全国で一斉に開催されます。スポーツはもちろんのこと、それ以外でも15分以上継続して体を動かす運動であれば、体操や散歩なども対象となります。

また、対戦の結果、負けた方の自治体が相手の自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し相手の健闘を称えるユニークなルールが特徴です。今年の特対相手は、秋田県大仙市(参加4回目)です。  
 参加率に応じて、金メダル、銀メダル、銅メダルが市に贈られます。

## 参加方法

## 運動する

5月25日(水) 午前0時～午後9時に小金井市内で15分以上継続した運動を行ってください。



## 連絡する

午後9時30分までに、集計センターへ団体・個人の別、参加人数、参加種目を電話、ファクスまたはEメールで連絡してください。(1人1回のみ)

## 集計センター(NPO法人黄金井倶楽部)

☎ 0800-800-7407 (フリーダイヤル)  
 (電話の受け付けは午前9時から)  
 FAX 0800-800-7409 (フリーダイヤル)  
 ✉ koganei-challenge@jcom.zaq.ne.jp

## 参加者募集 5月25日(水) チャレンジデーイベント

### 〈カントリーラインダンス〉

**とき** 午後4時～6時  
**ところ** 総合体育館  
**内容** 足のステップだけで踊る幅広い年齢の方ができるダンスです。  
**定員** 40人(当日先着順)  
**その他** 室内用シューズをお持ちください。  
**問合せ先** 生涯学習課スポーツ振興係 ☎042-386-2462

### 〈ウォーキングイベント〉

**集散時間・場所** 午前9時45分 JR武蔵小金井駅南口コミュニティ広場(フェスティバルコート) 集合～稲徳神社、浴恩館ほか～12時15分ごろ JR東小金井駅南口解散(約4.9km)  
**申込方法** 当日直接集合場所へ。  
**問合せ先** ウォーキング協会事務局 ☎042-381-2200  
 ※ 本事業は、ウォーキング協会との共催事業です。

### 〈フェルデンクライス健康体操教室〉

**とき** 午後1時～4時  
**ところ** 総合体育館  
**内容** 簡単なストレッチ体操で脳を活性化させ、体のバランスを整えます。  
**講師** 武井正子さん(順天堂大学名誉教授)  
**定員** 30人(多数抽選)  
**申込** 5月20日までに、ファクスまたはEメールで、住所・氏名・電話番号を明記し、NPO法人黄金井倶楽部 ☎042-406-2280 #042-406-2290 @npo.koganei-club@jcom.home.ne.jp)へ。  
 ※ 本事業は市の委託事業です。



## セパタクロー 見学&体験会

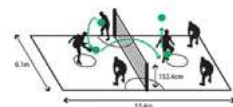
**とき** 5月25日(水) 午後6時30分～8時  
**ところ** 総合体育館大体育室  
**講師** 寺本進さん(セパタクロー元日本代表) ほか  
**対象** 小学生以上の方  
**その他** 室内用シューズをお持ちください。  
**申込方法** 当日直接会場へ。  
**問合せ先** 生涯学習課スポーツ振興係 ☎042-386-2462



小金井市観光大使・セパタクロー元日本代表 寺本進さん

### セパタクローとは?

足で行うバレーボールのようなスポーツ。使うコートの高さやネットの高さは、バドミントンと同じです。サッカーのオーバーヘッドキックのような華麗な技が魅力です。



2016年5月15日 日曜日 市報こがねい No.1363

**主 催**

狛江市チャレンジデー実行委員会 (会長 高橋都彦)  
 狛江市教育委員会教育部社会教育課  
 〒 201-8585 東京都狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号  
 狛江市役所

TEL : 03-3430-1111 FAX : 03-3430-1600

**結 果**

人 口 : 80,062 人 東京都狛江市 ○  
 参加者数 : 41,028 人 VS  
 参加率 : 51.2% 山形県米沢市 ●  
 取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①開会セレモニー&トークショー(狛江市民総合体育館 第一体育室) 150 人
    - ・開会セレモニーとして、山形弁研究者でもあるタレントのダニエル・カールさんをお招きし、対戦相手である山形県米沢市の魅力をお話いただきました。  
 特別企画として実施したトークショーはロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリストの狩野舞子さんにオリンピック当時や海外リーグ挑戦のお話をしていただいたほか、参加者とのQ&Aコーナーを実施し、最後には会場全体でミニストレッチを行いました。
  - ②個人開放卓球(江市民総合体育館 第一体育室) 69 人
  - ③お楽しみスポーツコーナー(狛江市民総合体育館 第一体育室) 48 人
  - ④どこでも簡単! ミニストレッチ(市役所防災センター、市民ひろば) 42 人
  - ⑤ターゲットバードゴルフ(多摩川緑地公園グラウンド) 35 人
- 【アスリート・著名人など】**  
 狩野舞子(ロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリスト)  
 /ダニエル・カール(タレント、山形弁研究者)

**実行委員会の構成団体**

市長/教育長/市議会議員/スポーツ推進委員協議会/体育協会/総合型地域スポーツクラブ/小学校(校長会)/中学校(校長会)/PTA 連合会

**メディア**

調布経済新聞/J:com「デイリーニュース」/東京新聞

**広報・周知**

初実施であった前回の反省を活かし、実施プログラムを減らし、オリンピックを招くなどいくつかのプログラムに絞って展開したほか、当日は市内にある駅に専用ブースを設置し、ティッシュの配布や参加報告の呼びかけを行いました。その結果、通勤・通学などで駅を利用する方の参加報告を集めることができました。またスポーツ推進委員によるプログラムでは、パラリンピック公式種目の

ポッチャを実施し、障がい者スポーツにも力を入れました。

**製作物**

チラシ 60,000 枚/ポスター 200 枚/大型横断幕 10 枚/のぼり 60 本/懸垂幕 2 枚/Tシャツ 190 枚/ポケットティッシュ 3,000 個/フラッグ・バナー 46 個

**実施効果**

前回よりも参加人数が増え、より多くの人にスポーツや運動をする「きっかけ」を提供できました。また、イベントを通して、様々な人との関係を築くことができ、特に対戦相手である山形県米沢市は、ダニエル・カールさんに山形の魅力をお話してもらうことで、自治体同士の新たなつながりを持つことができました。

**担当者から**

前回の周知不足という反省を活かしてイベントの周知活動により力を入れたこともあり、目標の達成にとどまらず、参加率アップ賞を受賞することができました。今年の参加者がチャレンジデーをきっかけにスポーツや運動に興味を持つように、そして継続して行えるように、他のイベントともつなげていければと感じました。



狛江駅内ブース



特別企画トークショー

## 狛江市で住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」 山形県米沢市と対戦

2016年05月20日

ツイート おすすめ 4 シェア G+ 1



狛江市で5月25日、スポーツを通じた住民総参加型イベント「チャレンジデー」が開催される。

15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の「参加率」を競い合う「チャレンジデー」

写真を拡大



地図を拡大

❖ 昨年は大阪府柏原市に破れ、柏原市の市旗を掲げた狛江市

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型のスポーツイベント。人口規模が同程度の自治体間で当日0時～21時の間に、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の「参加率」を競い合い、勝利した場合は、対戦相手の庁舎に市旗を1週間以上掲揚することができる。昨年同市は大阪府柏原市に破れ、柏原市の市旗を掲げている。

今年で2回目の参戦となる狛江市の人口は8万62人（2016年2月1日現在）。対戦相手は人口8万3804人の山形県米沢市。参加対象はチャレンジデー当日に同市内にいる人で、住民のほか、通勤者、通学者、観光客なども対象になる。実施種目は、15分以上継続した運動やスポーツなどの身体活動で、徒歩や自転車、自宅での掃除や洗濯なども含まれる。参加方法は、集計センターに参加人数・活動内容を報告。電話やファクス、メールのほかには駅などの市内各所に回収ボックスを用意する。

当日は、参加率の増加を目指し、参加無料のスポーツイベントを実施。開会セレモニーではダニエル・カールさんが特別出演するほか、ロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダリストの狩野舞子さんのトークショーを用意する。市民総合体育館ではボッチャ・フライングディスク体験や卓球、バドミントン、ビーチボールの個人開放コーナーなどスポーツプログラムを用意するほか、市役所ではミニストレッチコーナーを用意する。

同市教育部の相川さんは「前は初参加であり周知不足など慣れない点が多く、大阪府柏原市に大敗を喫してしまった。前回の反省を生かし、今回は勝利を目指していく。市民の皆さまに運動・スポーツへの関心をさらに高めてもらえるイベントとなるよう努力する。皆さん、どしどし参加してください」と話す。

2016年5月20日 金曜日  
調布経済新聞

### 全国一斉「チャレンジデー」

#### 多摩の3市が健康的に勝利

人口規模が同じ自治体同士で住民のスポーツ参加率を競った健康づくりのイベント「チャレンジデー」が全国一斉に行われた二十五日、都内から参加した昭島市、小金井市、狛江市の参加率の集計がまとまり、いずれも対戦相手に「勝利」した。

三市の参加率は、昭島市85・1%、小金井市82・6%、狛江市51・2%。それぞれ対戦した大阪府柏原市、秋田県大仙市、山形県

米沢市を大きく上回った。狛江市は、昨年よりも参加率が最も上がった自治体として「参加率アップ賞」も受けた。昨年の参加率は18・3%だった。

運営に当たった笹川スポーツ財団（港区）によると、全国百二十八自治体で

約二百九十二万人が参加。参加率の平均は54・3%だった。（加藤健太）



お楽しみスポーツコーナー（ボッチャ・フライングディスク）

2016年5月27日 金曜日 東京新聞

**主 催**

伊勢原市チャレンジデー実行委員会 (委員長 高山松太郎)  
教育委員会スポーツ課

〒 259-1188 神奈川県伊勢原市田中 348 番地  
伊勢原市役所

TEL : 0463-94-4711 FAX : 0463-94-7615

**結 果**

人 口 : 101,387 人 神奈川県伊勢原市 ●  
参加者数 : 53,863 人 VS  
参加率 : 53.1% 福岡県大牟田市 ○  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

①市内小学校・中学校チャレンジデーイベント(市内小学校・中学校) 8,598 人

- ・昭和 63 年に「だれでも、いつでも、どこでも」気軽に行うことが出来る体操として、「すこやかリズム体操」を制作しました。この体操の創作者であり、NHK テレビ・ラジオ体操指導者である長野信一先生をお迎えして、チャレンジデーオープニング及び市内の小中学校においてすこやかリズム体操の講習会を実施することで、正しい体操の仕方を学び、普及していくことを目的として実施しました。

②オープニングセレモニー(すこやかリズム体操) (伊勢原市総合運動公園 中央広場) 300 人

③フィナーレイベント(すこやかリズム体操 他) (伊勢原市総合運動公園 体育館) 170 人

④市民親睦グラウンド・ゴルフ大会(伊勢原市総合運動公園 自由広場) 130 人

⑤マンスリーウォーキング(伊勢原市総合運動公園 スタート・ゴール(高部屋地区ウォーキング)) 100 人

**【アスリート・著名人など】**

長野信一(日本体操研究所所長、NPO 法人全国ラジオ体操連盟副理事長、元 NHK テレビ・ラジオ体操・みんなの体操指導者) / 猪狩佑貴(元湘南ベルマーレ、元福島ユナイテッド FC 所属)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署 / 健康づくり担当部署 / スポーツ推進委員協議会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 幼稚園・保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 商工会・青年会議所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ / 観光協会

**メディア**

FM 湘南ナパサ / 神奈川新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / J: COM / 東京新聞

**広報・周知**

市広報にて全 4 回に渡りチャレンジデー特集を組むほか、市役

所のロビー及び最寄り駅の自由通路に横断幕、市内各公共施設にのぼりやポスターを掲出して、市民の目に触れる機会を増やしました。

また、市役所の職員は T シャツでの業務を禁止されていますが、T シャツを着用しての業務が許可され、多くの職員が着用し市民への PR を図りました。

**製作物**

チラシ 30,000 枚 / ポスター 600 枚 / 大型横断幕 2 枚 / 横断幕 (その他) 2 枚 / のぼり 80 本 / T シャツ 785 枚 / ポケットティッシュ 11,000 個 / クリアファイル 8,000 個

**実施効果**

チャレンジデーを通して市民の運動実施率の向上や運動に対するきっかけづくりなどを目的としているなか、運動実施率のアンケートを自治会に対して実施しました。チャレンジデーを契機にラジオ体操を始めたという回答があり、市民が積極的にスポーツに親しむきっかけの一助になっていると一定の効果が感じられました。

**担当者から**

対戦相手が熊本地震の震源地から近いところにあり、九州地方を応援することを目的に、チャレンジデー終了後に本市の市民朝市及び本市観光協会による物産販売会(計 4 日間)にて、対戦相手の特産品を販売しました。瞬く間に品物が完売し、市民からも大変好評でした。

このような機会に恵まれなければ、両市は関わる事がなかったと思いますので、この対戦をきっかけに両市の交流にも繋がる素晴らしいイベントだと感じました。



バランスボール教室



## チャレンジデー 市職員決起集会

あす大牟田市と対決

【伊勢原】自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)を目前に控え、伊勢原市職員約100人が23日、市役所で決起集会を開いた。

高山松太郎市長らが昼休みにそれぞれのTシャツを着て、「健康寿命日本一」を指して、「がんばるぞ」などと氣勢を上げた。写真。

伊勢原市は25日、福岡県大牟田市と対決。県央地域からは薩摩市もエントリーしており、山口市と対戦する。

2016年5月24日 火曜日 神奈川新聞

## チャレンジデーで運動に取り組む伊勢原市民



自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が25日行われた。県央地区から参加した伊勢原、座間の両市では市民が公園や学校でラジオ体操やウォーキングなどに取り組んだが、初勝利はなかった。両市は敗因についてPR不足を上げた。

3回目の挑戦となった伊勢原市は前回から4・1ポイント上り53・1%を記録したが、68・7%の福岡県大牟田市に敗れた。市スポーツ課は「二般中学校の校庭や体育館を開放

## 伊勢原 運動参加率競うイベント PR不足 勝利ならず

したが、想定の2分の1から3分の1にとどまったと分析した。

座間市は36・8%で、39・1%の山口市に2・3ポイント僅差を及ぼなかった。市スポーツ課は「大会当日の午後9時が報告の締め切りだったが、翌朝に報告してきた人もいた。大会だけでなく、ルールの周知も徹底できなかったと話す。

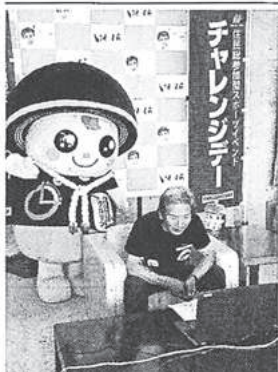
両市は「1年をかけてPRに努め、来年は初勝利を飾りたい」と意気込んだ。(山元 信之)

2016年5月27日 金曜日 神奈川新聞

## 25日のチャレンジデーへ市 大牟田市とエール交換

【伊勢原】自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)を控え、伊勢原市と対決する福岡県大牟田市の両市長が18日、テレビ電話でエール交換を行った。

大牟田市は熊本県と接していることから、伊勢原市標に掲げるのに対し、3度



福岡県大牟田市長とテレビ電話でエール交換を行う伊勢原市の高山市長(左)と市役所

目の挑戦となる伊勢原市は0勝2敗で目標は約60%。高山市長は「回数を重ねている大牟田市は手ごわい相手」と気を引き締めていた。

(山元 信之)

今年のチャレンジデーは25日開催。県央地域からは座間市もエントリーしている。

2016年5月19日 木曜日 神奈川新聞



フライングディスク教室



長野信一先生によるすこやかリズム体操講習会

## 主催

大井町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 間宮恒行)  
子育て健康課

〒 258-0019 神奈川県足柄上郡大井町金子 1964-1  
大井町保健福祉センター

TEL : 0465-83-8011 FAX : 0465-83-8016

## 結果

人口 : 17,280 人 神奈川県大井町 ○  
参加者数 : 9,952 人 VS  
参加率 : 57.6% 青森県藤崎町 ●  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングイベント(ラジオ体操) (町総合体育館) 123 人
  - ・ オープニングイベントとしてラジオ体操を行い、町スポーツ推進委員から正しい体操の仕方やストレッチについて解説していただきました。
- ② 自然観察ウォーキング(ブルクスホールディング) 108 人
- ③ 輪投げ大会(町総合体育館) 106 人
- ④ ファイナルイベント(エアロビクス) (町総合体育館) 103 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署／学校教育担当部署／健康づくり担当部署／福祉担当部署／観光担当部署／総務担当部署／庁内各課すべてに 1 人担当者を配置／スポーツ推進委員協議会／体育協会／幼稚園・保育園／小学校(校長会)／中学校(校長会)／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／社会福祉協議会／自治会・町内会／高齢者団体・老人クラブ／大井町ひょうたん文化推進協議会／大井町議会

## メディア

神静民報／タウンニュース

## 広報・周知

対戦相手の青森県藤崎町とエール交換を行い、その模様取材していただいたことは、チャレンジデーへの参加を促す上で効果がありました。

## 製作物

チラシ 7,000 枚／ポスター 170 枚／大型横断幕 1 枚／横断幕(その他) 18 枚／のぼり 148 本／Tシャツ 207 枚

## 実施効果

町内の自治会長に今年度から実行委員に加わっていただき、自治体ぐるみでイベントへの参加を呼びかけていただきました。また、町の広報に、町民リポーターの方が自治会での取り組みの一例を紹介してくださり、運動と健康について啓発することができました。

## 担当者から

対戦相手の藤崎町はベテランの強豪なので、そのことが、逆に町民に刺激になり、良い結果が出たのではないかと思います。また、エール交換などでは大変親身に対応していただき、対戦相手の町がどんな町なのかとも関心が高まりました。このことは、逆に考えると、当町を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。いずれにしましても、対戦は二の次で、チャレンジデーをとらして町民が健康や運動について関心を高め、コミュニケーション豊かな町づくりができたと思います。



ゲートボール



すこやか学級



空き缶積み上げ大会





**主 催**

開成町チャレンジデー実行委員会 (会長 府川裕一)

町民サービス部自治活動応援課

〒 258-8502 神奈川県足柄上郡開成町延沢 773

開成町役場

TEL : 0465-84-0315 FAX : 0465-82-5234

**結 果**

人 口 : 17,165 人 神奈川県開成町 ○

参加者数 : 10,409 人 VS

参加率 : 60.6% 北海道深川市 ●

取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)**

- ①大縄チャレンジ(開成町立開成南小学校) 612 人
- ②大縄跳び(神奈川県立吉田島総合高校) 583 人
- ③リズム運動(開成町立開成幼稚園) 497 人
- ④ウォーキング草刈(あじさい農道) 381 人
- ⑤マスにはまってマス! (開成駅西口ロータリー) 129 人
  - ・ ニューススポーツの「ポッチャ」にヒントを得た、ボールを転がしてマスにはめるゲームプログラムを実施しました。普段スポーツをしない人や子ども、高齢者でも気軽に挑戦できるプログラムを用意することで、運動する楽しさを知ってもらうことが狙いです。開催時間を夕方から夜にかけて、開催場所を人通りの多い駅前ロータリーに設定したことで、電車で通勤・通学するサラリーマンや学生にも参加していただきました。

**[アスリート・著名人など]**

湘南ベルマーレラグビーセブンズ(NPO 法人湘南ベルマーレスポーツクラブ所属の7人制ラグビーチーム)

**実行委員会の構成団体**

スポーツ担当部署/学校教育担当部署/健康づくり担当部署/福祉担当部署/観光担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校(校長会)/中学校(校長会)/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/社会福祉協議会/自治会・町内会/高齢者団体・老人クラブ/婦人会/障害者団体

**メディア**

タウンニュース

**広報・周知**

- ・ 町広報紙への記事掲載
- ・ 防災行政無線を活用した周知
- ・ 町公式マスコットキャラクター「あじさいちゃん」を伴っての街頭啓発キャンペーン
- ・ 町 Facebook への周知記事掲載
- ・ 実行委員会プログラムを特集したチラシの作成

**製作物**

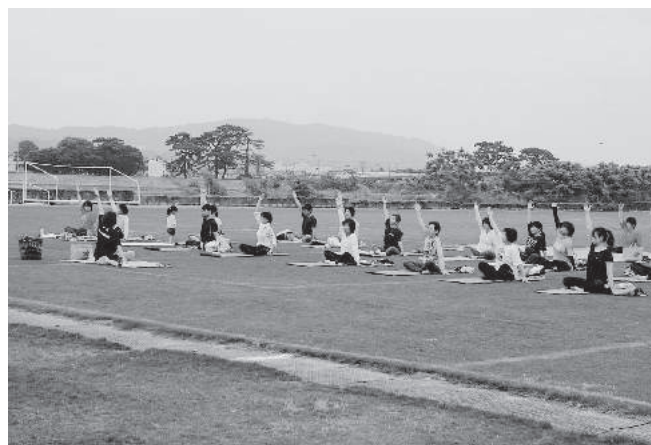
チラシ7,000 枚/ポスター 300 枚/大型横断幕 2 枚/横断幕(その他) 28 枚/のぼり 56 本/Tシャツ 103 枚/ポケットティッシュ 1,500 個

**実施効果**

開成町は、今回が 3 回目の実施となりました。前回、銀メダルで対戦相手に敗北したことから、町民間に「今度こそ勝つぞ!」という気合いが見られ、前回から 2,253 人増の 10,409 人がチャレンジデーに参加しました。自治会・学校・企業がそれぞれ一丸となって取り組んだこと、個人の参加者も積極的に自分ができる運動に取り組んだことが金メダルにつながりました。チャレンジデーを通じて、町全体が一体となることができました。引き続き、「日本一元気・きれいな・健康な町」を推進していきます。

**担当者から**

チャレンジデーの実施にあたって、町民への周知と開催プログラムの選定に苦労しました。3 回目の実施ではありますが、まだチャレンジデーの認知度は低かったため、町 Facebook や防災行政無線など色々なメディアを利用して広報に努めました。また、開催プログラムの選定にあたっては、日常的にスポーツに取り組んでいる人が満足するプログラムと普段あまり運動をしない人でも気軽に取り組めるプログラムの両方を揃え、自分のレベルに合ったプログラムに参加できるようにしました。



「青空の下」でヨガ



みんなで踊ろう! 阿波踊り

## チャレンジデー今年も4町参加 (スポーツ)

ツイート いいね! 0 シェア G+! 0

人口規模が同じ全国の自治体が対戦形式で1日の運動量をきそう住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が、今年も5月25日(水)に開始される。

全国で130自治体、県内からは3市7町、足柄上地区からは山北町、松田町、開成町、大井町が参加する。

対戦相手は、山北町が北海道芦別市、松田町が秋田県羽後(うご)町、開成町は北海道深川市、大井町は青森県藤崎町に決まった。4月下旬に各自治体が対戦相手とエール交換を行う。

2016年4月9日 土曜日  
タウンニュース

### 4町が参加

## 挑戦と交流 (スポーツ)

チャレンジデー

ツイート いいね! 1 シェア G+! 0

人口規模が同じ全国の自治体が対戦形式で1日の運動量をきそう住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が、今年も5月25日(水)に開催される。

全国で130自治体、県内からは3市7町、足柄上地区からは山北町、松田町、開成町、大井町が参加する。

山北町が北海道芦別市、松田町が秋田県羽後(うご)町、開成町は北海道深川市、大井町は青森県藤崎町と対戦。10日にエール交換をする。



チャレンジデーのポスター

2016年5月7日 土曜日 タウンニュース

## 決戦まであと2週間 (スポーツ)

チャレンジデー

ツイート いいね! 0 シェア G+! 0

横浜市の神奈川県庁で10日、「チャレンジデー2016」(5月25日)の決起集いが開催され、開成町の府川町長、大井町の間宮町長、山北町の湯川町長、松田町の本山町長ら参加する県内3市7町の首長らが意気込みを語り、各市町の公認キャラクターも応援に駆けつけた。



「チャレンジするで〜」=提供・開成町役場

開成町の府川町長は「チャレンジデーという一つのイベントに町全体で取り組むことで一体感をさらに高めていきたい」と話した。

チャレンジデーでは、毎年5月の最終水曜日に世界各国で実施される住民参加型のスポーツイベント。人口規模がほぼ同じ自治体が対戦相手となり、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動をした住民からの申告を集計した参加率を競う。

対戦相手は、開成町が北海道深川市、大井町は青森県藤崎町、山北町は北海道芦別市、松田町は秋田県羽後(うご)町。

開成町ではA3二つ折りの地図付きプログラムを町内各公共施設やコンビニで配布している。

2016年5月14日 土曜日 タウンニュース



未就園児親子対象運動会

## 主 催

寒川町チャレンジデー 2016 実行委員会 (実行委員長 木村俊雄)  
健康子ども部 健康・スポーツ課

〒 253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山 165  
寒川町役場

TEL : 0467-74-1111 FAX : 0467-74-5613

## 結 果

人 口 : 48,302 人 神奈川県寒川町 ○  
参加者数 : 25,710 人 VS  
参加率 : 53.2% 奈良県広陵町 ●  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

① **ファイナルイベント ダンスフェスティバル**(寒川総合体育館)  
331 人

- ・ダンスチームを公募し、5分以内で演技を披露していただきました。全8チームの参加があり、観客も含め331人の参加者を募ることができました。演技終了後、観客も含め全員で体操を行いました。このイベントを行うにあたり、チャレンジデーを主に担当した職員2人以外に、ファイナルイベントをメインに担当する職員をあてるなど、時間と労力を費やしました。

② 町長と一緒にラジオ体操(さむかわ中央公園) 195 人

③ サッカー教室(寒川総合体育館) 65 人

④ ニュースポーツ体験(寒川総合体育館) 60 人

⑤ ベビーピクス(寒川総合体育館) 49 人

## 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署/健康づくり担当部署/スポーツ推進委員協議会/体育協会/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ

## メディア

J: COM 湘南

## 広報・周知

5月に入ってから、担当窓口だけではなく庁舎内全体でチャレンジデーのアピールをし、担当課職員は昨年のTシャツを着用し業務をするなど、ご来庁いただいた方々や職員にチャレンジデーの周知をしました。また昨年より、プレスリリースの数を増やしたため、J: COM 湘南、タウンニュース等から取材がきまして、テレビ放映や新聞掲載等することができました。また、町のTwitter(ツイッター)やウェブサイトも利用致しました。

## 製作物

チラシ 25,000 枚/ポスター 100 枚/大型横断幕 1 枚/横断幕(その他) 8 枚/のぼり 50 本/Tシャツ 227 枚/ポケットティッシュ 5,000 個

## 実施効果

今年は昨年に引き続き2回目の実施で町内の事業所や関係機関との協力がとりやすく、また町民からの関心も高く町が一丸となる良いきっかけとなりました。また昨年の敗戦を悔しく思っている方が多く、町民や関係団体各々からアイデアやご意見をいただき、協働して取り組めたと思います。庁舎内でも今年は、目立つように周知活動をさせていただき、他課からも各種イベントや会議での周知の場を設けてもらうことができました。

## 担当者から

昨年の敗戦を活かし、目標であった50%を超えたことはよかったですと思います。対戦形式ということで、町が一丸となることができ、イベントを通して関係団体と交流が深められました。町民の健康増進と地域交流を図る良い機会となり、来年は今年より高い参加率を目指し、頑張りたいと思います。



町長と一緒に早朝ラジオ体操



湘南ベルマーレサッカー教室

寒川版

掲載号：2016年5月13日号

相手は奈良県広陵町 スポーツ

5・25 チャレンジデー

ツイート いいね! 0 ブックマーク 0 G+ 0

全国の自治体同士が1対1で対戦する住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が5月25日（水）に開催される。今年で2度目の挑戦となる寒川町は、同じく昨年から参加し始めた奈良県広陵町と対戦する。

年々参加自治体が増えて規模が大きくなっているこのイベント。（公財）笹川スポーツ財団が1993年から日常的な健康づくりとスポーツ振興などを目的にコーディネートしているもので、1日15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率で勝敗を決める。

集まった参加自治体の中から規模の近い自治体が対戦相手に選ばれ、初参加だった昨年は11回の参加実績を誇る富山県南砺市と対戦。チャレンジデーのベテラン自治体との対戦に当初から苦戦が予想されたが、結果は惨敗。このイベントのユニークな取り決め事である、負けた自治体が相手自治体の旗を庁舎メインポールに1週間掲揚するというルールが寒川で適用されることに。今年は互角の勝負が期待される。

現在、当日の午後7時から行われるダンスフェスティバルの参加チーム（5人以上）を募集中。イベントの詳細などは健康・スポーツ課スポーツ推進担当【電話】0467・74・1111へ。



昨年のチャレンジデーの様様。上から野球教室、ベビーピクス、サッカー教室

寒川町チャレンジデー2016

2016年05月25日～  
00:00開始～21:00終了  
神奈川県寒川町寒川町全体

2016年5月13日 金曜日  
タウンニュース web版



ファイナルイベント ダンスフェスティバル

#### 主催

座間市チャレンジデー実行委員会 (委員長 遠藤三紀夫)  
健康部スポーツ課

〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘 1-1-1  
TEL : 046-252-8177 FAX : 046-255-3550

#### 結果

人口 : 128,568人 神奈川県座間市 ●  
参加者数 : 47,313人 VS  
参加率 : 36.8% 山口県山口市 ○  
取得メダル : 銀

#### プログラム (太字 : 特に力を力を入れているプログラムと内容)

- ①フィナーレセレモニー(スカイアリーナ座間) 350人
- ②オープニングイベント(スカイアリーナ座間) 300人  
・チャレンジデーのスタートを告げるイベントであり、市長の開  
会宣言や神奈川県スポーツ局長のエール、プロボクサーの井  
上尚弥・拓真兄弟といこの浩樹選手が登場して参加の呼び  
かけと投票を行いました。  
最後に集まった参加者で、ご当地体操の「WE LOVE ZAMA  
健康体操」を実施しました。
- ③ターゲットバードゴルフ大会(相模川グラウンド) 136人
- ④一輪車体験教室(スカイアリーナ座間) 110人
- ⑤卓球教室(スカイアリーナ座間) 51人

#### 【アスリート・著名人など】

井上尚弥(プロボクサー、大橋ジム所属、WBO 世界スーパーフ  
ライ級王座) / 井上拓真(プロボクサー、大橋ジム所属、WBO  
スーパーフライ級東洋太平洋前王座(返上)) / 井上浩樹(プロボ  
クサー、大橋ジム所属、スーパーライト級 3戦3勝)

#### 実行委員会の構成団体

スポーツ担当部署 / 健康づくり担当部署 / スポーツ推進委員協議  
会 / 体育協会 / スポーツ少年団 / レクリエーション協会 / 幼稚園・  
保育園 / 小学校(校長会) / 中学校(校長会) / 商工会・青年会議  
所 / 社会福祉協議会 / 自治会・町内会 / 高齢者団体・老人クラブ  
 / 婦人会 / 障害者団体 / 観光協会

#### メディア

読売新聞 / 神奈川新聞 / テレビ神奈川(TVK)

#### 広報・周知

2回目ということもあり、チャレンジデーの実施が決定してから  
事前のPR用チラシを独自に作成して、市のイベントや各種団体  
の会議等で配布して、早めのPRを心掛けました。

#### 製作物

チラシ 55,000枚 / ポスター 600枚 / 大型横断幕 2枚 / のぼ  
り 120本 / 懸垂幕 1枚 / Tシャツ 462枚 / ポケットティッシュ  
6,000個 / クリアファイル 5,000枚

#### 実施効果

今回は自治会をあげての参加が目立ちました。各自治会がひと  
つのイベントへ向けて一致団結して取り組むことで、運動習慣の  
定着や健康づくりだけではなく、「まちづくり」という点でも非常  
に効果的でした。

#### 担当者から

2回目の実施ということもあり、昨年より「チャレンジデー」の  
認知度があがっていることが感じられました。学校や自治会では  
独自のイベントを実施して積極的に参加しています。

しかし、まだまだ市全体にチャレンジデーが浸透しきってはい  
ないので、チャレンジデーを通じて市民の健康づくりやまちの活  
性化が達成できるように、引き続き周知に取り組んでいきたいと  
思います。



新緑のなかでウォーキング



フィナーレ！みんなで WE LOVE ZAMA 健康体操



井上尚弥さん、拓真さん、浩樹さんも参加！

## チャレンジデーで運動促進

対戦相手は山口市に

市民の運動参加率を対戦自治体と競う「チャレンジデー」が5月25日(木)に開かれるに合わせ、スポーツイベントが予定されている。チャレンジデーとは、当日の午後9時までに継続して15分以上運動した市民の割合を競う住民参加型のスポーツイベント。カナダが発祥で、国内では公益財団法人笹川スポーツ財団らが主催している。



催しも開かれる(写真は昨年)

当日はスカイアリーナで運動支援イベント。大体育館で、様々な運動イベントが開かれる。午前9時からオープニングセレモニーとしてWELoveZAMA/健康体操を参加者全員で行うほか、10時からはニュースポーツやラジ体操、ヨガ教室など。午後1時には転倒予防・認知症予防体操、卓球遊戯・競技が予定されている。午後6時からは一輪車の体験教室が開かれるほか午後8時からは一輪車の演技披露などが予定されている。

ほかに、座間谷戸山公園内では午前9時からウォーキングイベント、9時50分からはフルディックウォーキング体験会も開かれる。問い合わせ・当日の参加報告は市スポーツ課 ☎046・255・1111。

2016年5月20日 金曜日 タウンニュース

## チャレンジデーで運動に取り組む伊勢原市民



自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が25日行われた。県央地区から参加した伊勢原、座間の両市では市民が公園や学校でラジオ体操やウォーキングなどに取り組んだが、初勝利はならなかった。両市は敗因についてPR不足を挙げた。

3回目の挑戦となった伊勢原市は前回から4・1%上が53・1%を記録したが、68・7%の福岡県大牟田市に敗れた。市スポーツ課は「一般の人々に運動してもらおうと小中学校の校庭や体育館を開放

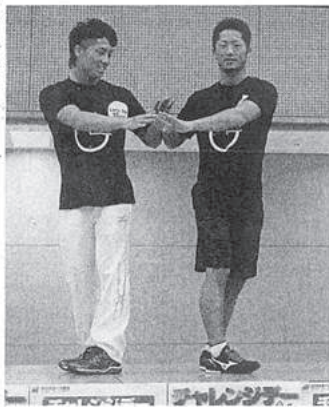
## 伊勢原市 運動参加率競うイベント PR不足 勝利ならず

したが、想定外の2分の1から3分の1にとどまった」と分析した。

座間市は36・8%で、39・1%の山口市に2・3%の僅差で及ばなかった。市スポーツ課は「大会当日の午後9時が報告の締め切りだったが、翌朝に報告してきた人もいた。大会だけでなく、ルールの周知も徹底できなかった」と話す。

両市は「1年をかけてPRに努め、来年は初勝利を飾りたい」と意気込んだ。(山元 信之)

## 座間市民ら運動で汗 チャレンジデー 山口市に惜敗



壇上で体操する井上尚弥選手(左)と弟の拓真選手(座間市民体育館で)

人口規模がほぼ同じ自治体同士で住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」が25日、全国で行われた。2度目の参加となった座間市は山口市

市と対戦して惜敗したが、座間市民体育館で行われた開会式には地元出身で世界ボクシング機構(WBO)スーパーフライ級王者の井上尚弥選手らが登場し、

市民と一緒に体を動かした。

午前0時〜午後9時の間に15分以上運動した住民らから報告を受け、参加率を算出して競い合った。座間市は36・8%で、山口市(39・1%)に惜しくも敗北。

座間市役所では26日から1週間、山口市旗をメインポスターに掲げるという。

座間市の開会式には、井上選手がプロボクサーで弟の拓真選手、いとこの浩樹選手と出席。市民らと一緒に運動して、いい汗を流しましょう」と呼びかけ、市民と健康体操をして盛り上がった。

2016年5月26日 木曜日 読売新聞

2016年5月27日 金曜日 神奈川新聞

